

National Agriculture and Food Research Organization

農研機構 品種

2016



農研機構

農研機構 品種2016

目次

農研機構育成の代表品種

1～2



米

えみのあき	3	主食用
笑みの絆	3	主食用・業務用
あきだわら	4	主食用・業務用
やまだわら	4	主食用・業務用
ほしじるし	5	主食用・業務用
せとのかがやき	5	主食用・業務用
恋の予感	6	主食用・業務用
姫ごのみ	6	主食用・業務用
はいごころ	7	主食用・加工用
きぬむすめ	7	主食用
にこまる	8	主食用
たちはるか	8	主食用・加工用
北瑞穂	9	加工用
ゆめふわり	9	加工用

麦類

ゆめちから	10	パン・中華麺用
銀河のちから	10	パン用
うららもち	11	精麦用
ユメシホウ	11	パン用
せときらら	12	パン用
ゆきみ六条	12	醸造用
カシマゴール	13	麦茶用
小春二条	13	醸造用
はるか二条	14	食用・醸造用
ハルヒメボシ	14	精麦用
ビューファイバー	15	大麦粉用
キラリモチ	15	精麦・大麦粉用

大豆

シュウリュウ	16	豆腐用
里のほほえみ	16	豆腐用
くろこじろう	17	納豆・豆菓子用
サチユタカ A 1号	17	豆腐用
たつまる	18	醸造・豆腐用
こがねさやか	18	豆腐・味噌・醸造用
あきまる	19	味噌用
フクハヤテ	19	豆腐用
くろさやか	20	豆菓子・大豆粉用
クロダマル	20	納豆・豆菓子用

いも類

ピルカ	21	青果用・業務用
はるか	21	青果用・業務用
からゆたか	22	青果用・業務用
あいこまち	22	食用・加工用
ほしこがね	23	干し芋加工用
タマアカネ	23	醸造・加工用
サツママサリ、コガネマサリ	24	醸造用
こなみずき	24	でん粉用





雑穀・工芸作物

レノカオリ	25	ソバ
にじゆたか	25	ソバ
満天きりり	26	ダッタンソバ
あきしずく	26	ハトムギ
にしきまる	27	ゴマ
北海みつぼし	27	テンサイ
ななはるか	28	ナタネ
キタノキラメキ	28	ナタネ
さえあかり	29	茶
なんめい	29	茶
そうふう	30	茶
サンルージュ	30	茶

果樹

もりのかがやき	31	リンゴ
ルビースイート	31	リンゴ
太豊	32	カキ
甘太	32	カキ
凜夏	33	ナシ
ジェイドスイート	33	セイヨウナシ
つきあかり	34	モモ
ひめこなつ	34	モモ
クイーンニーナ	35	ブドウ
璃の香	35	レモン
みはや	36	ミカン
露茜	36	ウメ

花・野菜

花恋ルージュ	37	カーネーション
豊雪姫・なつあかり	37	イチゴ
桃薫	38	イチゴ
おいC ベリー	38	イチゴ
すずこま	39	加熱調理用トマト
アルシス	39	メロン
フェーリア	40	メロン
ジェジェJ	40	セイヨウカボチャ
ストライプペポ	41	ペポカボチャ
クエルゴールド	41	タマネギ
あのみり2号	42	ナス
ゆめわらべ	42	ネギ
あきめき	43	ハクサイ
L4 台パワー・台ちから	43	トウガラシ・ピーマン用台木

飼料作物

たちじょうぶ	44	飼料用イネ
たちはやて	44	飼料用イネ
オオナリ	45	飼料用イネ
たちすがた	45	飼料用イネ
たちあやか	46	飼料用イネ
たちすずか	46	飼料用イネ
モグモグあおば	47	飼料用イネ
たちぴりか	47	飼料用トウモロコシ
まきばさかえ	48	メドウフェスク
LN-IR01・SI-14・JFIR-20	48	イタリアンライグラス
まきばたろう	49	オーチャードグラス
K78R7	49	エンバク
スナイパー	50	エンバク
九州14号	50	エンバク
しまのうしえ	51	飼料用サトウキビ
ウシブエ	51	トールフェスク

農研機構は、皆様の

おなじみの品種たち……

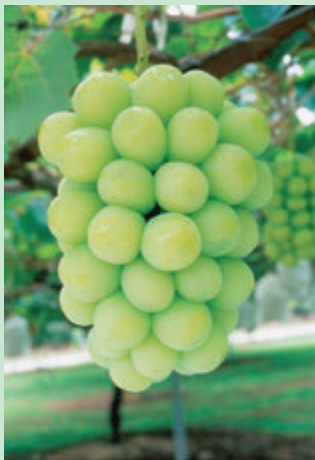
農研機構が開発育成した
代表的品種をご紹介します。

生産量世界一!

リンゴ「ふじ」

昭和 14 年に、当時の農林省園芸試験場東北支場（青森県南津軽郡藤崎町）で、国光（こっこう）とデリシャスの交配が行われ、その後、昭和 37 年に「りんご農林 1 号」として農林認定を受けました。

多汁で、甘味が強く、貯蔵性も抜群です。現在、日本の栽培面積の 5 割を占め、世界で最も多く栽培されている品種です。



大粒で皮ごと食べられる

種なしマスカット

ブドウ「シャインマスカット」

昭和 63 年に「ブドウ安芸津 21 号」と「白南」との交配が行われ、そこから誕生した「シャインマスカット」。糖度は高く酸味が低いうえ、噛み切りやすく硬い肉質を持ち、マスカット香もあるため品質が優れます。さらに種なしで皮ごと食べられる食べやすさも兼ね備え、人気急上昇中です。裂果もなく栽培もしやすいため、現在生産面積が拡大しており、ブドウ生産面積第 5 位を占めるに至っています。

頭の凸でおなじみの 通称デコポン!

カンキツ「^{しらぬひ}不知火」

昭和 47 年に清見とポンカンを交配して誕生。「デコポン」とは、熊本県果実農業協同組合が登録した商標名。

果肉は柔軟多汁、また、皮は剥きやすく、じょうのう膜も薄いため、食べやすいです。出荷量で、なつみかんやはっさくを上回ります。



食卓を支えています。



低アミロース米の代表品種

米「ミルキークイーン」

「コシヒカリ」に人為的に突然変異を起こさせて、アミロース含量を低下させた品種。昭和60年に研究を開始し、平成10年に品種登録されました。

「コシヒカリ」より粘りが強く、炊飯後に冷えても硬くなり、にくい特性があるため、冷蔵米飯や弁当、おにぎりなどの加工米飯にも適します。東南北部以南で広く栽培されています。

上品な甘さでお菓子・
焼き芋に適するサツマイモ

サツマイモ「べにはるか」

平成22年に品種登録された「べにはるか」は、上品な甘さで焼き芋やお菓子に適するサツマイモです。貯蔵すると粘質になり、甘みがさらに増してきます。外観がきれいでいもの揃いも良く、「外観」「収量性」「食味」のバランスがとれたサツマイモ品種です。



紅茶、半発酵茶としての品質良好、
緑茶で抗アレルギー効果

茶「べにふうき」

平成7年に品種登録された、日本で初めての紅茶、半発酵茶兼用品種。現在、鹿児島、静岡、大分などで生産。花粉症に対する抗アレルギー作用を有するメチル化カテキンを豊富に含み、飲料、菓子、健康食品の他、ベビーパウダー、入浴剤をはじめとする医薬部外品など様々な製品に利用されています。

渋皮が剥けやすい
大粒ニホングリ

クリ「ぽろたん」

純粋なニホングリですが、軽く加熱することでチュウゴクグリ並みに渋皮が簡単に剥ける早生品種で、平成19年に品種登録されました。大果で食味良好、焼き栗等の加工にも適します。現在、熊本、埼玉をはじめ、全国23都県で栽培がみられます。



米

【えみのあき】 いもち病に強く、東北地域で低コストの 直播栽培が可能な良食味米

東北中南部では“中生の晩”に属し、「ひとめぼれ」と同程度の熟期の直播用水稲品種です。

いもち病に強く、葉いもち・穂いもちのいずれに対しても抵抗性は“極強”です。稈長は「ひとめぼれ」より短く、「萌えみのり」と同様に倒れにくいことが特徴です。直播栽培（表面播種）で、「ひとめぼれ」より9%程度多収です。移植栽培、直播栽培のいずれでも「ひとめぼれ」並の良食味です。低温苗立ち性は「ひとめぼれ」などの一般品種と同程度です。

直播栽培で、表面播種が可能ことから、鉄コーティング湛水直播技術に適しています。新潟県で産地品種銘柄に指定されています。



葉いもち検定での発病程度（左から「えみのあき」「ひとめぼれ」「あきたこまち」「極強基準系統」）



穂いもち検定での発病程度（左：えみのあき、右：萌えみのり）

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 水田作研究領域 水稻育種グループ
(TEL 0187-66-2773) (FAX 0187-66-2639)

●種苗の入手先について

東北農業研究センターホームページにて公開しています。
https://www.naro.affrc.go.jp/tarc/symple_blog/hinsyu/018627.html

【笑みの絆】 寿司にはこれできまり！粘りが少なく、 あっさりとした食感の水稻品種

「笑みの絆」は粘りが少なくなめらかで、あっさりとした食感の品種です。お寿司の「しゃり」に最適で、関東を中心に大阪、福岡などのお寿司屋さんにも利用が広がっています。海外への輸出も始まり、今後の展開に期待できる品種です。



「笑みの絆」のお寿司

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

中央農業研究センター 総務部北陸企画管理室企画連携チーム
(TEL 025-523-4131) (FAX 025-524-8578)

●生産物の入手先について

同上

米

【あきだわら】多収で業務用に適した良食味米

多収で米の外観品質と食味の両方に優れることから良質な米商品として、業務用米等の用途が期待される品種です。標準施肥栽培の「コシヒカリ」と比較して、同じ施肥量で玄米収量が1割、多肥栽培では3割多収です。玄米の外観品質は「コシヒカリ」と同等かやや優ります。炊飯米の食味は、標準施肥栽培と多肥栽培の両方で「コシヒカリ」に近い良食味です。耐倒伏性は「コシヒカリ」より優れます。収穫期は「コシヒカリ」より11日遅く、関東平坦部では中生の晩の熟期で、栽培適地は関東・北陸以南の地域です。栽培にあたっては、「コシヒカリ」同様、いもち病と縞葉枯病に弱いので、適正に防除を行う必要があります。平成25年度現在、福島、栃木、茨城、千葉、新潟、兵庫の6県で産地品種銘柄になっています。



「あきだわら」の玄米
(左：あきだわら、右：コシヒカリ)



「あきだわら」の草姿
(左：あきだわら、右：コシヒカリ)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
次世代作物開発研究センター 稲研究領域 稲育種ユニット
(TEL 029-838-8536)
- 種苗の入手先について
次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「あきだわら」の特性

品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米品質
あきだわら	8.14	80	64.4	113	中上
コシヒカリ	8.05	93	56.6	(100)	中中

【やまだわら】多収で炊飯米が粘りすぎず、業務・加工用に向く米

玄米収量は「朝の光」に対して、早植標肥で33%、早植多肥で28%多収であり、多肥栽培で単収750kg以上の高収量が期待されます。炊飯米の食味は粘りが弱く、「コシヒカリ」より劣り、「日本晴」並です。炊飯米の粘りが強すぎない特徴を活かした外食・中食産業向けや冷凍米飯等業務用、醸造用掛米等としての利用が期待されます。栽培適地は、関東・北陸以西です。



「やまだわら」の草姿 (右：やまだわら、左：朝の光)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
次世代作物開発研究センター 稲研究領域 稲育種ユニット
(TEL 029-838-8536)
- 種苗の入手先について
次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「やまだわら」の特性

栽培法 (供試年)	品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	千粒重 (g)	玄米品質
標肥栽培 (平成19～22年)	やまだわら	8.08	80	71.8	133	22.8	5.6
	朝の光	8.07	75	54.8	100	21.7	4.6
多肥栽培 (平成18～22年)	やまだわら	8.09	88	83.8	128	22.1	5.2
	朝の光	8.09	83	65.7	100	21.5	4.3

注) 玄米品質：1 (上上) ～ 9 (下下)
栽培地：茨城県つくばみらい市、移植時期 早植：5月18日、晩植：6月25日、栽植密度 30 × 15cm
施肥量：標肥 N-P2O5-K2O：0.8-0.8-0.8kg/a、多肥 N-P2O5-K2O：1.2-1.2-1.2kg/a

米

【ほしじるし】多収で、食味が「コシヒカリ」に近い、業務用に向く米

麦作地帯での栽培に必要な縞葉枯病抵抗性を持つ多収・良食味品種です。「月の光」に対して早植栽培で25%程度、晩植栽培でも15%以上多収で、二毛作にも適しています。稈長が短いことから倒伏しにくく、省力低コストな直播栽培にも適しています。炊飯米は、「コシヒカリ」に近い良食味です。栽培適地は、北関東等の二毛作地帯です。



「ほしじるし」の草姿（右：ほしじるし、左：月の光）

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 稲研究領域 稲育種ユニット
(TEL 029-838-8536)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「ほしじるし」の特性

栽培法 (供試年)	品種名	出穂期 (月・日)	玄米収量 (kg/a)	比較 比率(%)	千粒重 (g)	玄米 品質
標肥栽培 (平成19～22年)	ほしじるし	8.11	65.2	125	23.5	5.3
	月の光	8.13	52.3	(100)	22	4.8
	あさひの夢	8.15	56.4	112	22.2	4.7
多肥栽培 (平成18～22年)	ほしじるし	8.29	63	118	23.2	4.8
	月の光	8.29	53.6	(100)	22.3	4

注) 玄米品質：1 (上上) ～ 9 (下下)

栽培地：茨城県つくばみらい市、移植時期 早植：5月18日、晩植：6月25日、栽培密度 30 × 15cm
施肥量：標肥 N-P2O5-K2O：0.8-0.8-0.8kg/a)

【せとのかがやき】良食味・多収で縞葉枯病抵抗性の温暖地向け水稻品種

「きぬむすめ」および「日本晴」に比べ、普通期栽培でそれぞれ6%および9%、晩植栽培でそれぞれ1%および3%多収です。食味は「きぬむすめ」並に良好です。出穂期は「日本晴」より1日程度早く、成熟期は「日本晴」並で、瀬戸内平坦部では“中生の中”に属します。圃場抵抗性は葉いもちが“中”、穂いもちが“やや強”です。縞葉枯病には、抵抗性を示します。栽培適地は関東以西の温暖地、暖地です。

栽培に際しての留意点

- 1) 耐倒伏性は“やや難”ですが、極端な多肥栽培条件下では倒伏のおそれがあるので、適切な肥培管理を行ってください。
- 2) 高温耐性が“やや弱”のため、登熟期に気温の高い地域では施肥法など栽培管理に留意してください。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

西日本農業研究センター 水田作研究領域 水稻育種研究グループ
(TEL 084-923-5346) (FAX 084-924-7893)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)



標準的な栽培条件での草姿（左：日本晴、中：せとのかがやき、右：きぬむすめ）

「せとのかがやき」の主要特性(育成地)

栽培法 (供試年)	品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	精玄 米重 (kg/a)	同左 比率 (%)	玄米 品質
普通期栽培 (平成19～24年)	せとのかがやき	8.13	83	60.2	109	5.1
	きぬむすめ	8.15	84	56.7	103	4.7
	日本晴	8.14	80	55.3	(100)	5.1
晩植栽培 (平成23～24年)	せとのかがやき	8.17	81	62.1	103	4.7
	きぬむすめ	8.20	83	61.8	102	4.5
	日本晴	8.18	79	60.3	(100)	4.3

注1) 玄米品質は1 (上上) ～ 5 (中中) ～ 9 (下下) の9段階評価。

注2) 普通期栽培は6月8日移植、晩植栽培は6月21日移植による成績。

【恋の予感】

高温下でも品質が優れ、良食味で多収の西日本向け水稻品種

西日本で広く栽培されている「ヒノヒカリ」と同じく、出穂期・成熟期がやや晩の品種です。玄米品質が登熟期の高温に強い「にこまる」と同程度に良好で、育成地では「ヒノヒカリ」より約15%多収です。食味は「ヒノヒカリ」と同等の高い評価を得ています。いもち病に対しては「ヒノヒカリ」よりも強く、縞葉枯病に抵抗性があります。

「ヒノヒカリ」に比べ、育苗期の高温により葉がやや徒長しやすいため、育苗時には温度管理に注意が必要です。葉いもちには「ヒノヒカリ」よりは強いですが、適宜防除が必要です。白葉枯病にやや弱いため、常発地での栽培は避けます。耐倒伏性は「ヒノヒカリ」と同等ですが、倒伏防止のため、地力にあった適切な肥培管理を行います。「恋の予感」は農研機構の登録商標です。(登録番号 第5718990号)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

西日本農業研究センター 水田作研究領域 水稻育種研究グループ
(TEL 084-923-5346) (FAX 084-924-7893)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)



移植栽培での草姿
(左:ヒノヒカリ、右:恋の予感)



玄米 (左:ヒノヒカリ、右:恋の予感)

「恋の予感」の主要特性

品種名	恋の予感	ヒノヒカリ	にこまる
出穂期	8.21	8.20	8.23
稈長(cm)	81	85	90
精玄米重(kg/a)	58.7	51.0	57.8
同比較比率(%)	115	(100)	113
玄米品質1)	3.9	5.3	3.8
食味2)	上中	上中	上中
葉いもち	中	弱	やや弱
穂いもち	やや強	やや弱	やや弱
縞葉枯病	抵抗性	罹病性	罹病性

※育成地(福山市)における普通期移植(6月6日)栽培の成績(2007～2013年)。

注1)玄米品質は1(上上)～5(中中)～9(下下)の9段階評価。

注2)食味は食味官能試験による上上～下下の9段階評価。

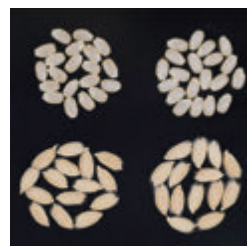
【姫ごのみ】

「ヒノヒカリ」と同熟期で西日本で作りやすい低アミロース米

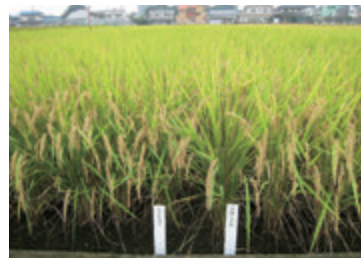
ウルチ米とモチ米との中間の粘りがある形質を「ミルキークイーン」より受け継いだ低アミロース米です。炊飯米はもちもちとした食感で、粘りがあって柔らかく、食味は良好です。冷めてもおいしいことからおにぎりとしての利用にも適しています。

瀬戸内沿岸では中生の晩の熟期で、「ヒノヒカリ」と同じ熟期になります。倒れにくく、「ヒノヒカリ」より耐病性に優れるため、栽培しやすい品種です。

また、「ヒノヒカリ」と同等以上の収量が見込めます。外観品質は「ヒノヒカリ」より良好ですが、低アミロース米のため玄米はわずかに白濁します。



「姫ごのみ」の籾と玄米
(左:ヒノヒカリ、右:姫ごのみ)



「姫ごのみ」の草姿
(左:ヒノヒカリ、右:姫ごのみ)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

西日本農業研究センター 水田作研究領域 水稻育種研究グループ
(TEL 084-923-5346) (FAX 084-924-7893)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

「姫ごのみ」の品種特性(育成地)

品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	アミロース 含有率(%)	玄米 品質
姫ごのみ	8.21	86	57.4	106	8.4	3.6
ヒノヒカリ	8.22	86	55.1	100	15.5	4.9

注)玄米品質:1(上上)～9(下下)

米

【はいごころ】 苗立ち性、収量性に優れ、 良食味の低アミロース性巨大胚品種

中生熟期の低アミロース性巨大胚品種です。通常の品種よりも胚が3倍ほど大きく、機能性成分ギャバが約3倍多く生成します。胚芽米、発芽玄米としての食味に優れ、また、玄米粉としての利用も可能で、玄米粉パンはギャバが多く含まれているだけでなく、硬くなりにくい特長があります。

瀬戸内沿岸では「ヒノヒカリ」と同じく、中生の晩の熟期となります。従来の巨大胚品種「はいいぶき」と比べて、苗立ち性、収量性に優れています。耐倒伏性が“中”であるため、適肥栽培に努めること、および、穂発芽性が“中”であるため、刈遅れに注意し、適期刈り取りに努めることが必要です。



「はいごころ」の籾と玄米
(左:はいごころ、中:はいいぶき、右:ヒノヒカリ)



「はいごころ」の草姿
(左:ヒノヒカリ、中:はいごころ、右:はいいぶき)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

西日本農業研究センター 水田作研究領域 水稻育種研究グループ
(TEL 084-923-5346) (FAX 084-924-7893)

●種苗の入手先について

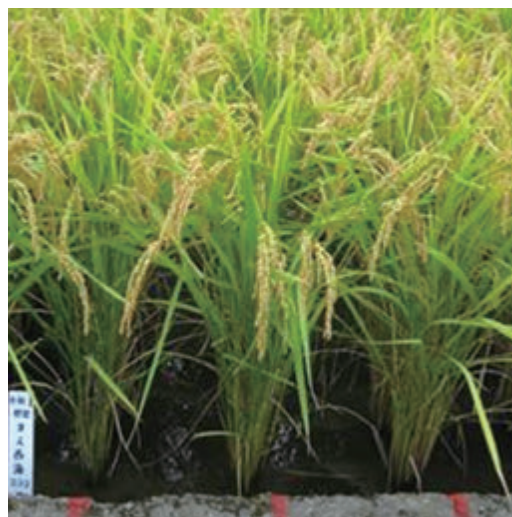
西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

【きぬむすめ】 「日本晴」熟期の 早生極良食味品種

「日本晴」よりやや晩生で、収量性や品質など他の形質のバランスが良く安定しており、栽培適地の広いのが特長です。

食味も、「コシヒカリ」と同等以上の特性を示します。

現在、島根県をはじめとする近畿、中国地域等の7府県で奨励品種に採用され、11県で産地品種銘柄になり作付が拡大中です。平成25年の全国の品種別作付面積では19位にランクインしています。



きぬむすめの草姿

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 稲育種グループ
(TEL 0942-52-0647)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

「きぬむすめ」の品種特性(育成地)

品種名	出穂期 (月・日)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	玄米重 (kg/a)	比較比率 (%)	千粒重 (g)	玄米品質 (1良-9劣) (コシヒカリ)	食味
きぬむすめ	8.22	85	347	60.3	104	21.5	4.6	-0.09
日本晴	8.20	82	366	57.9	100	22.5	4.3	-0.97

米

【にこまる】西日本向きの、暑さに負けないおいしいお米

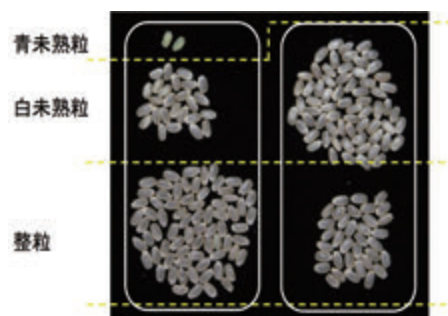
玄米の粒張りが良く、高温年でも白未熟粒の発生が少なく、年次、地域を問わず「ヒノヒカリ」より品質が優れています。収量は高温年でも安定しており、ヒノヒカリより5～10%近く多収です。また精米するときの歩留り(搗精歩合)が高く、同じ量の玄米からたくさんの白米を得ることができます。

食味は、つやが良く粘りが強く、「ヒノヒカリ」と同等以上です。

平成20～24年の「米の食味ランキング」で長崎産の「にこまる」が最高級の「特A」評価を連続で受けるなど、味の良さは折り紙付きです。

長崎・大分等6県で奨励品種として普及中で19県で産地品種銘柄になるなど、「ヒノヒカリ」に代わる西日本の基幹品種になりつつあります。

玄米 100粒を分類



高温年(2010年)の玄米
(左:にこまる、右:ヒノヒカリ)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 稲育種グループ
(TEL 0942-52-0647)
- 種苗の入手先について
九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

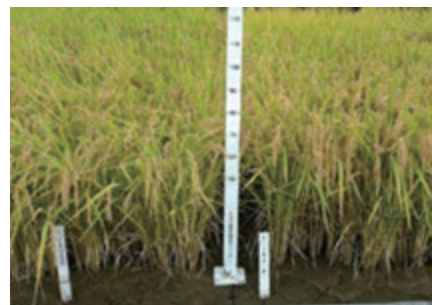
「にこまる」の品種特性(育成地)

品種名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	比較比率 (%)	玄米千粒量 (g)	玄米品質 (1良-9劣)
にこまる	8.28	10.15	84	62.8	106	23.1	4.4
ヒノヒカリ	8.26	10.13	84	59.0	100	22.4	5.6

【たちはるか】直播でも倒れにくく、低コスト生産が可能になる水稻新品種

西日本の平野部向きの晩生種です。通常の品種より20%近く多収である上、倒れにくく、直播栽培にも向くため低コスト生産が可能です。

稲の主要な病気のいもち病、縞葉枯病に強く、これらに対する農薬コストを低減出来ます。主食用の業務用米のほか、やや大粒で低タンパクの特性を活かして酒造用掛け米にも利用が可能です。



育成地における草姿(直播栽培)
(左:あきまさり、右:たちはるか)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 稲育種グループ
(TEL 0942-52-0647)
- 種苗の入手先について
九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

「たちはるか」の品種特性(育成地)

栽培条件	品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	倒伏 (0-5)	玄米重 (kg/a)	比率 (%)	千粒重 (g)	品質 (1良-9劣)	食味(コシヒカリ基準:0)	玄米タンパク 質含有率(%)
移植	たちはるか	9.01	83	0.0	63.0	119	25.3	6.8	-0.07	6.2
	レイホウ	9.02	79	0.3	53.1	100	23.2	7.3	-	7.2
	あきまさり	9.03	81	0.1	59.0	111	22.4	4.8	-0.08	6.3
	ヒノヒカリ	8.25	83	0.2	54.2	102	22.6	6.6	0.05	6.6
湛水 直播	たちはるか	9.02	83	0.4	65.4	106	25.7	6.8		
	あきまさり	8.31	78	1.4	61.9	100	22.3	4.8		
	ヒノヒカリ	8.29	80	1.9	52.6	80	22.7	6.2		

注1)倒伏:0(無)～5(完全倒伏)ヒノヒカリは熟期が異なる為参考値

注2)食味は育成地産コシヒカリを基準(0)とする食味試験の総合評価(複数回試験の平均値)

米

【きたみずほ 北瑞穂】 米粉麺などの加工用途に適した高アミロース米

白米のデンプンに含まれるアミロース含有率が約 30% で、一般の品種と比べると約 10 ポイント高く、米の粘りが少ない特徴を示します。そのため米粉麺に加工した場合、麺離れが良く適度なコシの強さがあり、加工適性や食味官能評価に優れます。また米粉クッキーでは、従来の品種に優るサクサク感を得ることが出来ます。北海道向けの品種であり、「きらら 397」と比較して多収で耐冷性に優れ、低コストで安定生産が可能であり、様々な加工用途向けの素材として期待されます。



北瑞穂の籾と玄米
(左：北瑞穂、
右：きらら 397)



北瑞穂を使った加工品例
(左：米粉麺、右：玄米粉入りクッキー)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 作物開発研究領域 水稻育種グループ
(TEL 011-857-9311) (FAX 011-859-2178)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

「北瑞穂」の特性(育成地、2009年～2011年 中苗・移植)

品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	屑米歩合 (%)	玄米千粒重(g)	アミロース 含有率(%)	タンパク質 含有率(%)	障害型 耐冷性
北瑞穂	7.31	81	60.6	114	10.7	21.8	29.6	5.1	強
きらら397	7.30	69	53.4	(100)	7.7	22.4	19.8	6.8	やや強

【ゆめふわり】 柔らかく、しっとり、もっちりとした食感の、おいしい米粉パンができる

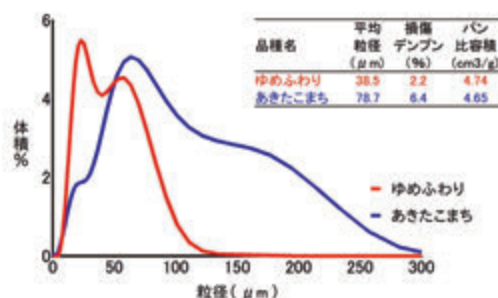
損傷デンプンの割合が少なく、粒径の小さい米粉に製粉できる米粉用水稲品種です。

アミロース含有率はウルチとモチの中間程度で低アミロース米です。

「ゆめふわり」の米粉を小麦粉と混合して製パンすると、やわらかく、しっとり、もっちりとした食感のおいしい米粉パンを製造できます。



ゆめふわりの米粉を3割混合した食パン



湿式気流製粉の粒度分布と損傷デンプン含有率および米粉混合パンの比容積 (赤：ゆめふわり、青：あきたこまち)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 水田作研究領域 水稻育種グループ
(TEL 0187-66-2773) (FAX 0187-66-2639)

●生産物の入手先について

同上

麦類

【 ゆめちから 】 パン用・中華めん用の ブレンド利用に適する小麦

グルテンの力が極めて強い超強力秋まき小麦品種です。「きたほなみ」等の中力小麦粉とブレンドすることにより、その生地の弱さが改善され、本来は強力粉が使われる製パン向けに利用できます。また、ブレンドした小麦粉を使用した中華めんは弾力・硬さの食感が優れたものになります。

原料のタンパク質含量が高いので、醤油原料用としても利用できます。

土壌病害であるコムギ縞萎縮病に対して優れた抵抗性を有しますので、北海道の本病発生地帯の秋まき小麦の安定生産につながります。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

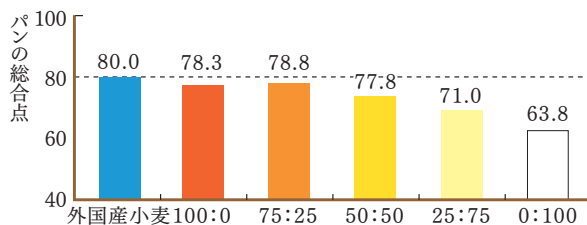
北海道農業研究センター 畑作物開発利用研究領域 小麦育種グループ
(TEL 0155-62-9210)

●生産物の購入について

道内製粉業者各社



100:0 75:25 50:50 25:75 0:100 外国産小麦
「ゆめちから」:「きたほなみ」のブレンド比率



注)日本パン技術研究所による。
横軸の数字はゆめちから:きたほなみのブレンド比率を示す。
外国産小麦は市販パン用小麦粉で、これを80点として比較評価。

ゆめちからブレンド粉の製パン性の比較

【 銀河のちから 】 グルテンが強靱な パン中華麺用小麦

グルテン組成を改善し、グルテンの質を強靱にした硬質小麦品種です。銀河のちから 100% でもパン原料として利用できますが、グルテンが強靱なため、他の小麦とのブレンドによりさらに製パン適性が増加します。軟質小麦や米粉等とのブレンド利用も可能です。小麦粉の色相も良く、ラーメンや生パスタの原料としても使用されています。東北、北陸の気候に適し、岩手県で奨励品種に採用されているほか、宮城県と秋田県でも栽培されています。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 畑作物育種グループ
(TEL 019-643-3512) (FAX 019-641-7794)

●小麦粉の入手先

東北製粉協同組合 (TEL 019-622-8228) (FAX 019-624-4737)
(東日本産業株式会社019-676-4141 府金製粉株式会社0195-65-2226 菅原製粉製麺工場0195-27-2815)



他の小麦とのブレンドによりパンのボリュームアップ
左から銀河のちから 100%、銀河のちから 50% ゆきちから 50%、ゆきちから 100%



米粉を30%加えたパンの例

麦類

【うららもち】 新しい食品素材として期待されるもち性の小麦

通常の小麦の澱粉には、粘る成分のアミロペクチンが約7割、粘らない成分のアミロースが約3割存在しますが、もち性小麦の「うららもち」の澱粉にはほとんどアミロースが存在しません。このため、「うららもち」の小麦粉を用いると、通常の小麦粉を用いた場合より、「もちもち感」や「しっとり感」が増したり、冷めても硬くなりにくかったりするなどの特徴がありますので、新しい食品素材として期待できます。



「うららもち」小麦粉で作った白玉だんご

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 麦研究領域 大麦・小麦育種ユニット
(TEL 029-838-7497)

●生産物の入手先について

株式会社 保田商店 (0594-22-6251)

「うららもち」の小麦粉の特性

品種名	タンパク質含量 (%)	灰分含量 (%)	澱粉中のアミロース含量 (%)
うららもち	10.8	0.42	1.9
農林61号	11.4	0.40	27.7

注) 1997～2001年度の作物研究所における平均値

【ユメシホウ】 温暖地に適した早生・多収のパン用小麦

関東地域を含む温暖地で栽培可能な早生・多収のパン用小麦です。西日本で普及しているパン用小麦「ニシノカオリ」より製パン性に優れ、パン類の他、ピザ生地や中華麺にも利用できます。追肥をしても倒伏しにくく、良質のパン製造に必要なタンパク質含量の高い小麦が得られます。現在、茨城県や三重県などで栽培されています。



「ユメシホウ」のパン

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 麦研究領域
(TEL 029-838-7497)

●種苗の入手先について

つくば市商工会
(TEL 029-879-8200)

「ユメシホウ」の製パン性

品種名	内部色相 (10点)	す立ち (10点)	触感 (15点)	香り (10点)	食感 (15点)	味 (10点)
ユメシホウ	6.2	6.8	10.8	7.0	11.2	6.9
ニシノカオリ	5.7	5.4	8.5	6.8	8.8	6.3

注) 2005～2006年産について、日本パン技術研究所で3回評価した結果の平均(カッコ内満点)

麦類

【せときらら】

多収で製パン性に 優れるパン用小麦

グルテンが強く製パン性に優れます。タンパク含量が高ければ、輸入のパン用小麦に近い適性が得られます。アミロース含量がやや低く、もちもち・しっとりとした食感のパンが作れます。また、製粉歩留やミリングスコアが高く製粉性にも優れます。

温暖地向けのパン用品種として収量が多く、また、赤かび病抵抗性や穂発芽耐性に優れるため、安定生産が期待できます。ただし、タンパク質含量が低い生産物では製パン性も低下しますので留意が必要です。

栽培適地は関東以西の平坦地で、山口県で奨励品種として採用されました。



ミナミノカオリ せときらら
製パン試験（日本パン技術研究所）

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

西日本農業研究センター 水田作研究領域 麦類育種グループ
(TEL 084-923-5381) (FAX 084-924-7893)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

●生産物の入手先について

JA 全農やまぐち
(TEL 083-988-0601)

「せときらら」の特性

品種名	成熟期 (月・日)	収量 (kg/a)	収量比 (%)	容積重 (g)	パン 評価点
せときらら	6.07	55.9	139	848	78
ニシノカオリ	6.07	40.4	100	831	70
ミナミノカオリ	6.09	46.1	114	830	73

【ゆきみ六条】

積雪地向け 焼耐用六条皮麦

新潟県産ゆきみ
六条を原料につ
かった「地産地
消型焼酎」



六条皮麦新品種「ゆきみ六条」は

- 1) 焼酎を醸造したときの香りが強く、個性的な地産地消型焼酎への加工適性が優れています。
- 2) 短稈穂数型の特徴があり、収量性に優れます。
- 3) 「地産地消型」麦焼酎への利用が予定されています。
- 4) 初の積雪地向け焼耐用大麦です。

「ゆきみ六条」の栽培・精麦特性

品 種 名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏程度	収量 (kg / a)	標準比率 (%)	容積重 (g / L)	千粒重 (g)	整粒歩合 (%)	外観品質	原麦タンパク質含量 (%)	硝子率 (%)	空回利率 (%)	55%搗精		砕粒率 (%)
	(月・日)	(月・日)	(cm)	(cm)	(本/㎡)											白度	黄分	
ゆきみ六条	5.04	6.10	89	4.4	443	微	43.1	107	727	36.3	96.2	4.0	9.7	42.3	2.2	11.26	46.2	2.3
ミノリムギ	5.07	6.10	94	4.9	375	微	40.5	100	710	39.1	94.7	3.3	9.5	58.4	0.0	12.47	43.8	1.2
ファイバースノウ	5.05	6.09	89	5.0	358	無	40.2	99	703	40.8	96.9	3.2	10.0	47.5	0.0	11.21	45.0	2.3

2012～2014年産の生産力検定試験(標肥・北陸研究センター)の平均値

「ゆきみ六条」の焼酎醸造特性

品種名	水分	デンプン価	吸水性		もろみ特性				焼酎の官能検査(各10点満点)			
			率35% (hr)	吸水時間 吸水	日本酒度	アルコール 度数	酸度	アミノ酸 度	得量 ml/kg	純アルコール 収率	味	香り
ゆきみ六条	11.8%	79.6%	98.7	+4.2	18.2%	7.9	3.5	125.9	7.3	7.5	7.5	
ミノリムギ	12.2%	79.0%	108.5	+6.2	18.2%	8.1	3.3	125.9	6.4	6.1	6.3	
ファイバースノウ	11.8%	79.0%	112.5	+6.4	17.9%	8.2	3.4	125.5	6.6	6.1	5.8	
ニシノホシ (九州産)	11.6%	80.4%	98.5	+4.5	18.3%	8.9	3.7	126.5	6.0	5.8	6.3	

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

中央農業研究センター 総務部北陸企画管理室企画
連携チーム
(TEL 025-523-4131) (FAX 025-524-8578)

●生産物の入手先について

同上

麦類

【カシマゴール】 縞萎縮病に抵抗性を持ち 稈が折れにくい麦茶用六条大麦

従来品種の「カシマムギ」で問題になっている縞萎縮病に抵抗性を持ち、うどんこ病にも強い麦茶用品種です。

さらに、「カシマムギ」よりも、成熟後に稈が折れにくいいため、安定した収量が得られます。

「カシマムギ」と比べてやや粒が小さいですが、穂数が多く多収で、容積重もやや重いです。

麦茶の香りの元になるとされる蛋白質の含有率や麦茶粒の外観、麦茶の味・香りは「カシマムギ」と同程度です。

茨城県、神奈川県で奨励品種、愛知県で産地品種銘柄になっています。



「カシマゴール」の麦茶粒

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 麦研究領域 大麦・小麦育種ユニット
(TEL 029-838-8862)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「カシマゴール」の麦茶品質

品種名	麦茶品質			
	原麦タンパク質含有率(%)	麦茶液色	味・香り	総合評価
カシマゴール	12.2	やや淡	中	中
カシマムギ	12.0	中	中	中

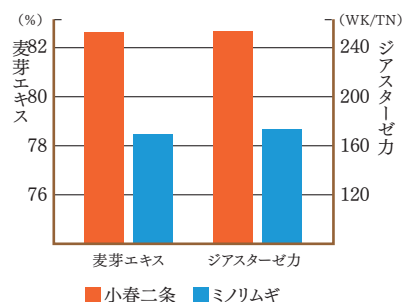
【小春二条】 寒冷地の気候に適した ビール醸造用二条大麦

東北・北陸地域の気候に適したビール醸造適性を有する二条大麦品種です。耐雪性は、既存の二条大麦品種「あまぎ二条」と比べると強く、根雪期間 70 ～ 80 日までの地域で栽培可能です。

寒冷地向け六条大麦品種の「ミノリムギ」と比べると収量は少ないですが、千粒重、リットル重は大きく、穀粒の外観品質は優れます。

また、実験室レベルの分析では、特に麦芽エキスを、ジースターゼ力が高く、ビール醸造適性に優れています。

現在、東北、北陸、東山地域の各所で栽培が行われ、ビールの原料等に利用されています。



「小春二条」のビール醸造適性
(東北農業研究センター圃場 2004-2005 年産)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 畑作物育種グループ
(TEL 019-643-3512) (FAX 019-641-7794)

●東北農業研究センター 企画部

(TEL 019-643-3437) (FAX 019-643-3405)



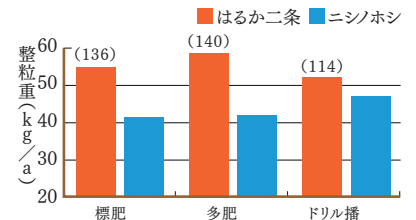
小春二条の耐雪性 (2008 年 3 月 14 日東北農業研究センター圃場における越冬後の生育状況)
(左:小春二条、中:ミノリムギ、右:あまぎ二条)

麦類

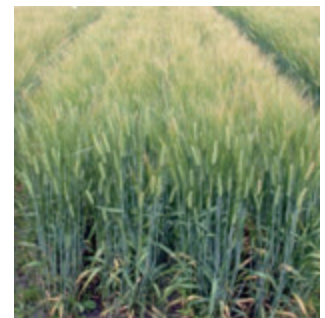
【はるか二条】 「ニシノホシ」に代わる主力品種として期待できる二条大麦新品種

食用及び焼酎醸造用の二条大麦で倒伏しにくく、穂発芽と主要な萎縮病ウイルス系統に強い品種です。また、整粒歩合が高く極多収で、精麦品質と焼酎醸造適性は暖地の主力品種「ニシノホシ」並に優れています。

平成 25 年に農林認定品種として認められ、長崎県、福岡県、鹿児島県で奨励品種に採用され、「ニシノホシ」に代わる主力品種として生産が始まっています。「はるか二条」は農研機構の登録商標です。（登録番号 第 5581323 号）



「はるか二条」の整粒収量
九州沖縄農業研究センター（筑後）、広幅播き標準肥と多肥栽培は 2008～2011 年度、ドリル播は 2009～11 年度。粒厚 2.5mm 以上の整粒重。
() 内は整粒収量の「ニシノホシ」比 (%)



黄熟期の「はるか二条」

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 大麦・小麦育種グループ
(TEL 0942-52-3101)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

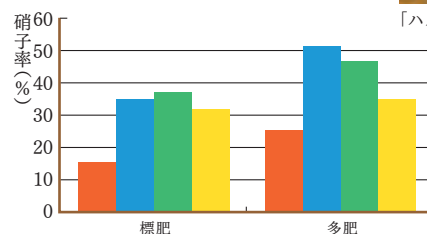
【ハルヒメボシ】 硝子率が低く精麦品質が優れる 早生・多収の裸麦

硝子率が低く精麦白度が高い、高品質の六条裸麦です。早生で、倒伏に強い上、成熟期に稈が折れにくく、収量性も高いため、安定生産が可能です。品質ランク区分の基準値をクリアしやすいことから、生産者の収益確保が見込めます。

愛媛県で奨励品種に採用され、主に麦味噌原料の精麦用として生産が始まっています。

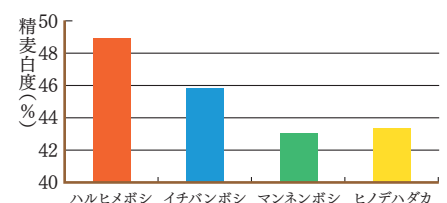


「ハルヒメボシ」の麦味噌



●ハルヒメボシ ●イチバンボシ ●マンネンボシ ●ヒノデハダカ

硝子率(2004～2010年度のドリル播き栽培での平均値)



精麦白度(2004～2010年度のドリル播き栽培での平均値)

【問い合わせ先】

●西日本農業研究センター 水田作研究領域 麦類育種グループ

(TEL 0877-63-8126) (FAX 0877-63-1683)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部 産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

麦類

【ビューファイバー】 麦の食物繊維の主成分であるβ-グルカン含有量が高い二条大麦

原麦および精麦の食物繊維の主成分であるβ-グルカン（水溶性食物繊維）を従来品種の2～3倍多く含む二条大麦品種です。やや早生種で、強稈で耐倒伏性は強いですが、収量性は劣ります。また、穀粒はしわ状になり精麦白度が低く、外観品質は劣りますが、粉に挽いて加工利用すれば、既存の小麦粉や米粉食品に少量をブレンドするだけで外観や食感・食味を損ねることなく機能性成分を付加できます。なお、大麦萎縮病抵抗性（ウイルスⅠ～Ⅲ型）は極強、うどんこ病抵抗性は極強、赤かび病抵抗性はやや強です。現在、栃木県、愛知県、茨城県などで栽培されています。



「ビューファイバー」の草姿



「ビューファイバー」100%シフォンケーキ

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 麦研究領域
大麦・小麦育種ユニット
(TEL 029-838-8862)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部
企画連携室
(TEL 029-838-8260)
(FAX 029-838-7488)

「ビューファイバー」の特性一覧

品種名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂数 (本/㎡)	耐倒伏 性	収量 (kg/10a)	萎縮病 抵抗性	うどんこ 病抵抗性	赤かび病 抵抗性	精麦白 度(%)	整粒歩 合(%)
ビューファイバー	4.12	5.28	8.9	749	強	525	極強	極強	やや強	40.5	41.5
カシマムギ	4.11	5.24	4.8	542	やや弱	703	やや弱	やや強	やや弱	44.3	81.1
イチバンボシ	4.11	5.26	5.6	502	やや強	623	強	やや強	やや弱	47.9	74.6

注)2007～2008年度の成績による。整粒歩合は2.2mm以上。

【キラリモチ】 褐変しにくく、食味が優れるもち性の二条裸麦

「キラリモチ」は、画期的な品質特性をもつ二条裸麦です。もち性であるため食味が優れ、機能性成分のβ-グルカンがうるち性品種よりも1.5倍程度多く含まれます。ポリフェノールの一種プロアントシアニンをほとんど含まないため、炊飯など加熱調理後も褐変しにくい特長もあります。収量性はやや劣りますが、従来品種にはない品質特性を合わせ持つことから、関係企業から注目されています。麦ごはん用に限らず、粉利用などによって高付加価値食品の開発が期待されます。北海道（春播き）から鹿児島県まで生産者による試験栽培が行われており、一部の産地では麦ごはん用やもち麦粉用など新規用途向けとして本格的な生産が始まっています。



18時間保温後の炊飯麦
(左：キラリモチ、右：イチバンボシ)

60%精麦の精麦のポリフェノールとβ-グルカン含量

品種名	総ポリフェ ノール含量 (mg/g)	プロアントシ アニジン含量 (μg/g)	β-グルカン 含量 (%)
キラリモチ	0.15	0.7	7.2
イチバンボシ	0.32	55.7	4.7

【問い合わせ先】

●西日本農業研究センター 水田作研究領域 麦類育種グループ

(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部 産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

麦ごはんの食味試験結果

品種名	白さ	香り	軟らかさ	粘り	味
キラリモチ	0.58	0.32	0.93	1.12	0.56
イチバンボシ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ユメサキボシ	-0.42	-0.15	0.02	0.06	-0.01

3カ年の平均値：各調査項目のイチバンボシ（標準品種）の評価を0とした相対評価で、-2～+2の評価を与えています。+評価は白く、香りが良く、軟らかく、粘りが多く、味が良いことを意味します。

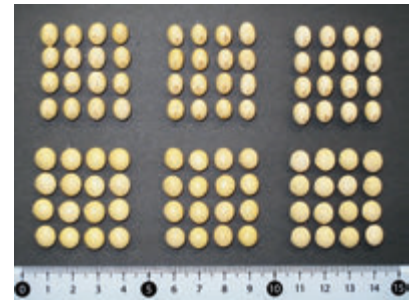
大豆

【 シュウリュウ 】 収量が安定して多く、大粒で豆腐加工に適する大豆

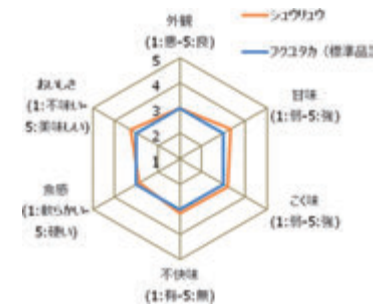
「シュウリュウ」は、東北地域における成熟期が中生の早で豆腐加工に適する大粒のダイズ品種です。

ダイズモザイク病や紫斑病に強く、倒れにくく、収量は「ナンプシロメ」より安定して多いです。子実は白目で「ナンプシロメ」より大きく、蛋白質含量は「ナンプシロメ」並で豆腐加工に適し、煮豆、味噌などにも利用できます。

現在、岩手県および山形県で生産されています。



子実の形状（左：シュウリュウ、中央：リュウホウ、右：スズカリ）



豆腐加工適性の評価結果（2010～2012年の平均、国産大豆の品質評価に係わる情報交換会）

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 水田作研究領域 大豆育種グループ
(TEL 0187-75-1084) (FAX 0187-75-1170)

●種苗の入手先について

東北農業研究センターホームページにて公開しています。
http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/symple_blog/hinsyu/025653.html

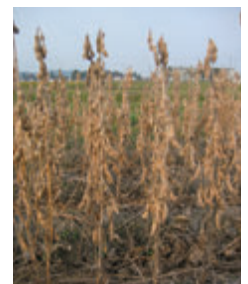
【 里のほほえみ 】 倒れにくく大粒良質で高蛋白の大豆

成熟期が晩生で、大粒良質の高蛋白なダイズ品種です。子実の蛋白質含量が「エンレイ」並に高く、豆乳の抽出率や豆腐の硬さなどから、豆腐加工に適しています。「エンレイ」に比べ1週間ほど晩熟でダイズモザイク病や紫斑病に強く、粒大はかなり大粒で外観品質が良好です。生育中は倒れにくく、最下着莢節位が高く、莢が割れにくいことからコンバイン収穫などの機械化適性にも優れていることが特徴です。

山形県、福井県、栃木県、石川県で生産されています。



子実の形状
(上：里のほほえみ、左下：エンレイ、右下：スズユタカ)



転換畑での草姿

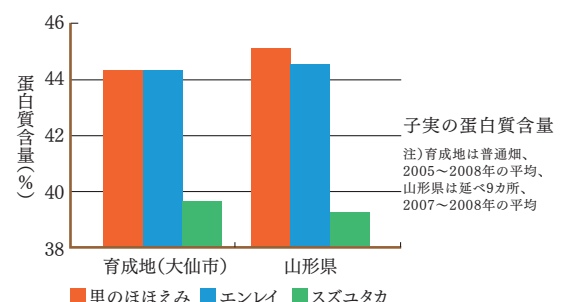
【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 水田作研究領域 大豆育種グループ
(TEL 0187-75-1084) (FAX 0187-75-1170)

●種苗の入手先について

東北農業研究センターホームページにて公開しています。
http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/symple_blog/hinsyu/025653.html



子実の蛋白質含量

注) 育成地は普通畑、2005～2008年の平均、山形県は延べ9カ所、2007～2008年の平均

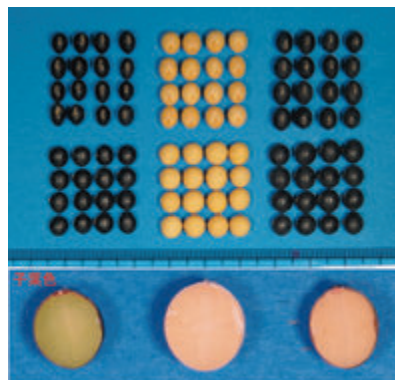
■ 里のほほえみ ■ エンレイ ■ スズユタカ

大豆

【くろこじろう】 東北南部地域～東海地域向けの耐倒伏性を有し栽培しやすい小粒の黒大豆

黒豆納豆や豆菓子などに利用できる極小粒の黒大豆品種です。子実の大きさは「納豆小粒」よりやや小さく、子実の子葉色が緑色の特徴を持っています。納豆のほか、甘納豆、豆餅、豆ご飯、小粒の煮豆など様々な用途が考えられます。

従来の小粒黒大豆品種とは違い、倒伏と蔓化が発生しにくい栽培しやすく、コンバイン収穫による収穫ロスが少ないので大規模栽培に向いています。現在、茨城県内の農業生産法人等が栽培に取り組んでおり、納豆と甘納豆が製品化されました。今後地域の特産品としての利用に期待が高まっています。



子実の特徴



子葉色の緑を活かした豆餅

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
次世代作物開発研究センター 畑作物研究領域 大豆育種ユニット
(TEL 029-838-8503)
- 種苗の入手先について
農業生産法人(有)ソメノグリーンファーム
(TEL 0297-44-3081) (FAX 0297-44-3095)



納豆（左）と甘納豆（右）



現地栽培試験における成熟期の様子（奥：くろこじろう、手前：黒大豆小粒）

【サチユタカ A 1号】 莢がはじけにくい実質的収量が向上する「サチユタカ」の改良品種

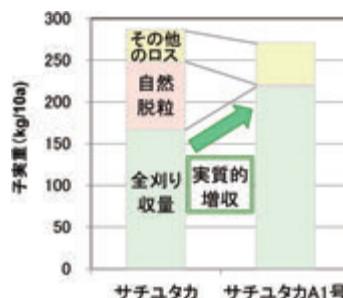
西日本の主要品種である「サチユタカ」に、DNA マーカー選抜と戻し交雑法を用いて、莢がはじけにくい性質を導入した品種です。「サチユタカ」と成熟期、粒大、豆腐加工適性などの生育・品質特性がほぼ同じなので、「サチユタカ」との置き換えが比較的容易にできます。莢がはじけにくいため、成熟後の自然裂莢により子実を畑にばらまく損失が「サチユタカ」に比べて少なく、実質的に増収します。

ただし、莢がはじけにくいからといって、成熟後に長い期間、収穫しないで放置すると品質が低下するので、できるだけ適期収穫に努めてください。

栽培適地は関東南部～九州北部地域です。



「サチユタカ A 1号」は莢がはじけにくい（60℃ 3 時間の通風乾燥試験）



「サチユタカ A 1号」は実質収量が多い（成熟期1ヶ月後にコンバイン収穫。2012年育成地）

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
次世代作物開発研究センター 畑作物研究領域 大豆育種ユニット
(TEL 029-838-8503)
- 種苗の入手先について
次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「サチユタカA1号」の主要特性

品種名	成熟期 (月.日)	子実重 (kg/10a)	子実重 標準比	百粒重 (g)	主茎長 (cm)
サチユタカA1号	11.03	339	102	31.1	47
サチユタカ	11.02	333	100	31.3	47

大豆

【 たつまろ 】

莢がはじけにくく耐倒伏性が強い 醤油加工に適した中粒大豆

「たつまろ」は難裂莢性（成熟した莢がはじけにくい特性）で耐倒伏性が強く、最下着莢位置が高く、コンバイン収穫適性に優れる中生品種です。ダイズモザイクウイルスの感染に対して、褐斑粒を生じにくく種子伝染も極めて少ない特性を有し、また、ラッカセイわい化ウイルスにも抵抗性を有しています。粒の大きさは中粒で、裂皮は少なく、外観品質が良好です。子実の蛋白含量が高く、醤油の色および官能評価は標準品種「タマホマレ」と同等で、醤油醸造に適します。また、豆腐加工にも適します。栽培適地は近畿中国四国地域で、温暖地での栽培に向いています。



熟風乾燥処理後の裂莢の様子（左：たつまろ、右：サチユタカ）

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

西日本農業研究センター 水田作研究領域 大豆育種グループ
(TEL 0877-63-8132) (FAX 0877-63-1683)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

醤油醸造適性試験成績

品種名	圧搾生汁		官能評価					
	全窒素 (%)	色度	醤油香	熟成香	重厚感	華やかさ	アルコール 香	総合 評価
たつまろ	1.383	No.35	3.1	3.1	3.3	3.5	3.6	2.8
タマホマレ(標準)	1.302	No.35	3.0	3.5	3.3	3.6	3.3	2.8

注1) 原料大豆は2012年兵庫県たつの市産。2013年にH社の醤油醸造小規模仕込み試験方法により実施した。
注2) 「タマホマレ」はH社の地場産大豆使用醤油の原料大豆である。

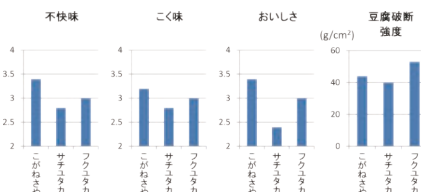
注3) 色度はJAS規格「しょうゆ標準色」の番数、No.2(濃)～No.56(薄)。「淡口」規格はNo.18以上、「濃口」はNo.18未満。

注4) 官能評価はパネル8名で行い、総合評価は悪(1)～良(5)、その他は弱(1)～強(5)の5段階の絶対評価とした。

【 こがねさやか 】

用途が広く加工製品に青臭みのない 温暖地向け大豆品種

- 裂皮の少ない中粒大豆で、粗タンパク質含有率が高く、多様な用途に利用できます。
- 種子中のリポキシゲナーゼを欠失しているため、豆腐や豆乳などの加工製品に青臭さがありません。
- 豆腐は、良好な官能評価、十分な破断強度が得られています。
- 醤油原料、味噌原料（特に淡色味噌）として評価が高く、また、納豆への利用も可能である、との評価を得ています。



こがねさやか草写真（左：こがねさやか、右：サチユタカ）

「こがねさやか」の豆腐としての評価

※「不快味」、「こく味」、「おいしさ」は、1(悪)～5(良)の5段階評価。「不快味」は得点が高いほど不快でないことを示す。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

西日本農業研究センター 水田作研究領域 大豆育種グループ
(TEL 0877-63-8132) (FAX 0877-63-1683)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

「こがねさやか」の特性概要

品種名	こがねさやか	サチユタカ(標準)	タマホマレ(比較)
百粒重(g)	32.0	33.1	31.4
粗タンパク含有率(%)	44.7	46.2	41
リポキシゲナーゼアイソザイム	全欠	全有	全有
種子の裂皮	少	多	中

大豆

【あきまろ】味噌の原料に好適な晩生大豆

成熟期が「フクユタカ」と同程度の晩生種で、晩播栽培（7月上～中旬播）において「フクユタカ」より平均4%多収です。ダイズモザイク病の病原の1つであるダイズモザイクウイルス A2 系統に対して抵抗性を持っており、本病による減収や障害粒発生を防ぎます。子実の外観品質が優れており、淡色味噌への加工適性について、色の明るさ、照り等の色調、味の官能評価が良好で、標準品種「トヨコマチ」と比較して同等以上との評価が得られています。また、煮豆、納豆用途についても良い評価を得られています。豆腐については粗蛋白質含有率がやや低いため、「フクユタカ」に比べ柔らかい豆腐ができます。広島県で生産されています。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

西日本農業研究センター 水田作研究領域 大豆育種グループ
(TEL 0877-63-8132) (FAX 0877-63-1683)

●種苗の入手先について

西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)



子実の比較
(左：あきまろ、右：フクユタカ)

「あきまろ」の淡色味噌加工適性

		あきまろ	トヨコマチ(標準)
重量増加比(倍)	浸漬後	2.28	2.36
	煮沸後	2.05	2.10
煮沸大豆	水分(%)	57.7	60.1
	硬さ(g)	453	543
煮沸大豆の色調	明度Y(%)	35.7	35.7
	赤みx	0.392	0.389
	黄みy	0.391	0.388

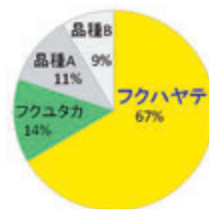
【コメント】 煮沸大豆の色調の明度 Y (%) が高く良好。味噌の色が明るく照りがあり、色調が良い。香りがやや弱い。味はまとまりあり。
注) 煮沸大豆の色調は CIE (国際照明委員会) の定める Yxy 表色系による。Y の値が高いほど色が明るく、x、y の値が高いほどそれぞれ赤み、黄みが強いことを示す。

【フクハヤテ】とてもおいしい豆腐に加工できる新品種

「フクユタカ」以上においしい豆腐に加工できる新品種です。また豆腐だけでなく、納豆、煮豆、味噌の加工用にも適しています。裂皮粒の発生も少なく、白目で外観品質に優れています。

成熟期が「フクユタカ」より 10～12 日早いため、本品種との組み合わせると収穫期間が広がり、コンバイン 1 台あたりの作付面積を増やすことができます。

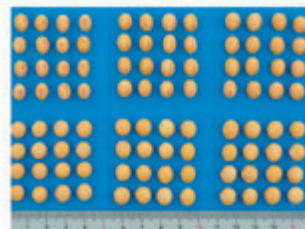
「フクユタカ」より主茎長が短く、倒伏が少ないため、6 月に早播きしても収量が低下しません。このため天候の安定している 6 月中下旬に播種することで良好な出芽苗立ちが期待できます。



どの品種の豆腐が一番おいしい?

4種類の大豆で作った豆腐を品種名を隠して7名が試食した結果、67%の人が「フクハヤテ」が一番に選びました。
(九州農業振興センター大豆育種グループより提供)

豆腐のおいしさ比べ



子実の外観
左：フクユタカ 中央：フクハヤテ 右：サチユタカ
「フクハヤテ」は「フクユタカ」、「サチユタカ」より裂皮度が少なく、外観品質が優れています。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 作物開発利用研究領域 大豆・資源作物育種グループ
(TEL 096-242-7739) (FAX 096-249-1002)

●種苗・生産物の入手先について

同上

「フクハヤテ」の主要特性

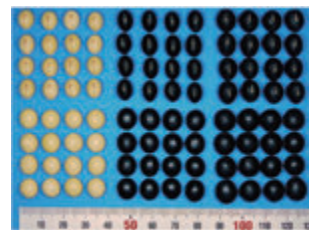
播種時期	標準期播き(7月上旬)			早播き(6月上旬)		
	フクハヤテ	フクユタカ	サチユタカ	フクハヤテ	フクユタカ	サチユタカ
成熟期(月・日)	10.23	11.02	10.26	10.16	10.28	10.17
子実重(kg/a)	35.1	37.8	37.1	35.1	33.5	34.6
子実重標準比(%)	93	100	98	105	100	103
子実の品質外観	中の上	中の中	中の中	中の上	中の中	中の中

大豆

【くろさやか】 青臭みがなく、多収で 熟期が早い暖地向けの黒大豆

収量（子実重）が多く、成熟期が早い、暖地と温暖地南部向けの黒大豆です。“極大粒”の「クロダマル」より小さい“大粒”で、豆菓子などの用途に適しています。また、大豆の青臭みの原因となる酵素であるリポキシゲナーゼを含まないため、生大豆粉を使ったケーキ、パン、麺類など、多様な食品開発に容易に活用できます。

青臭みがない特徴を利用するためには、異品種の混入防止が重要ですが、「くろさやか」は花の色や胚軸（地表近くの茎）の色が「フクユタカ」などの主要品種と異なるため、簡単に識別できます。「クロダマル」と用途別に使い分けることにより、6次産業化などへの黒大豆の利用促進が期待されます。



子実の外観
(左：フクユタカ、中：くろさやか、右：クロダマル)



花と胚軸の色が他の主要品種と異なるので、識別が簡単
(左：フクユタカ、中：くろさやか、右：クロダマル)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 作物開発利用研究領域 大豆・資源作物育種グループ
(TEL 096-242-7739) (FAX 096-249-1002)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

「くろさやか」の主要特性

品種名	成熟期 (月・日)	子実重 (kg/a)	子実重 標準比	百粒重 (g)	主茎長 (cm)
くろさやか	11.03	44.1	127	34.1	73
クロダマル	11.16	34.6	100	50.6	65

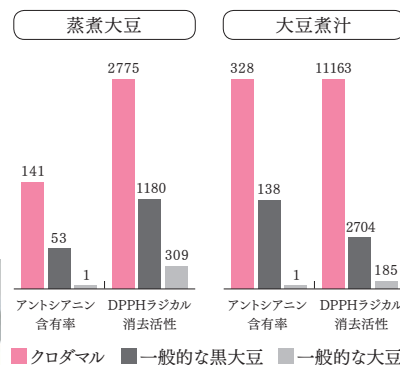
注) 育成地（熊本県合志市）の普通畑 7 月上中旬播種、2009 年～2011 年の平均。

【クロダマル】 九州初の 極大粒黒大豆品種

「坂上 2 号」と「新丹波黒」を交配して育成された九州向け初の極大粒黒大豆品種です。蒸煮大豆と大豆煮汁中のアントシアニン含量と抗酸化活性が高いという特徴を持っています。成熟期は「新丹波黒」よりやや早く、子実重（収量）は「新丹波黒」並かやや高いです。

煮豆加工においては、製品歩留まりが九州産の「新丹波黒」より高く、外観品質と食感も良好です。煮豆以外にも煎り豆、甘納豆、きな粉、さらにそれらを加工した食品など、多様な用途に利用できます。

地域おこし、農商工連携、6次産業化などの核として活用できるため、各地で作付が広がってきています。



■育成地の平成 10 年度産の大豆による評価
アントシアニン含有量: nmo l-C3G 相当量/gDW、
DPPHラジカル消去活性(抗酸化活性): nmo l-Trolox 相当量/gDW



「クロダマル」の活用例

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 作物開発利用研究領域 大豆・資源作物育種グループ
(TEL 096-242-7739) (FAX 096-249-1002)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

「クロダマル」の主要特性

品種名	成熟期 (月・日)	子実重 (kg/a)	百粒重 (g)	煮豆加工適性	
				製品歩留まり	外観(光沢・色沢)
クロダマル	11.11	30.8	48.4	良	良
新丹波黒	11.14	29.5	59.2	並	良
フクユタカ	10.29	40.0	30.7	—	—

注) 栽培特性は育成地（熊本県合志市）の普通畑 7 月上中旬播種、1998、2000 年～2003 年の平均。

いも類

【ピルカ】メークインタイプのジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種

イモは長卵形で、目が浅く、外観が優れます。肉色は「メークイン」と同程度の淡黄です。熟期は「メークイン」と同程度の中早生品種で、収量は「メークイン」並ですが、上いも平均重はやや大きくなります。でん粉価は「メークイン」よりやや低いです。ジャガイモシストセンチュウに対する抵抗性を持つため、線虫の未発生圃場では、線虫の新たな発生を防ぎ、発生圃場では、線虫密度を著しく低減させることができます。イモの二次生長が少なく、目が浅いため、皮が大変剥きやすいです。煮崩れが少なく、調理後の黒変も少ないため、特に水煮料理に向き、家庭料理に最適です。



目が浅い「ピルカ」

「ピルカ」の農業特性

(北海道農業研究センター/芽室町 平成15～20年)

品種名	枯ちよう期 (月・日)	上いも 平均重 (g)	規格内 いも重 (kg/10a)	標準 比 (%)	でん 粉価 (%)	ジャガイモシストセンチュウ 抵抗性	増殖率 (倍/作)
ピルカ	9.10	107	3,654	118	15.0	強	0.1
男爵薯	9.02	83	3,109	100	16.4	弱	17.3
メークイン	9.13	83	3,421	110	16.3	弱	—

注) 上いも: 20g 以上。規格内: 60 ～ 260g。—: 未供試。

「ピルカ」の調理特性

(北海道農業研究センター/芽室町 平成15～20年)

品種名	水煮					目の 深さ	トリミング 数
	肉色	黒変	肉質	煮崩れ	食味		
ピルカ	淡黄	微	やや粘	少	中上	浅	2.1
男爵薯	白	少	やや粉	中	中上	深	9.8
メークイン	淡黄	微	中(やや粘)	中(微)	中(中上)	浅	12.5

注) トリミング数: 機械による90%剥皮後の人手によるトリミング必要数(カ所/kg)。() 内はばれいしょ種苗特性分類基準に基づく判定。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 畑作物開発利用研究領域 パレイシヨ育種グループ
(TEL 0155-62-9272)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

【はるか】家庭料理にも業務用途にも適するジャガイモ

煮崩れが少なく食味に優れ、家庭料理にも、サラダ、コロッケなどの業務加工用途にも適する中生の生食用品種です。イモは倒卵形で、「男爵薯」よりも大きく、白肉で、内部障害の発生が少なく、打撲に対してやや強い抵抗性をもつことも魅力です。ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はもちろんのこと、青枯病や塊茎腐敗にもやや強い抵抗性を持っています。

目が浅いので皮を剥きやすく、また目の周りが赤くかわいい外観がこの品種の特徴でもあります。肉質はやや粘質で、ほのかな甘みがあります。目が少ないので、種イモを切断する場合は、頂芽の位置に注意が必要です。



かわいい外観の「はるか」



サラダなどの業務用にも向きます

「はるか」の農業特性(北海道農業研究センター/芽室町 平成15～20年)

品種名	枯ちよう期 (月・日)	上いも 平均重 (g)	規格内 いも重 (kg/10a)	標準 比 (%)	でん 粉価 (%)	病害虫抵抗性		
						ジャガイモ シストセンチュウ	青枯病	塊茎 腐敗
はるか	9.22	105	3,749	118	15.8	強	やや強	やや強
男爵薯	9.02	83	3,166	100	16.2	弱	弱	弱
さやか	9.18	110	3,766	119	16.8	強	弱	やや強

注) 上いも: 20g 以上、規格内: 60 ～ 260g。

「はるか」の調理特性(北海道農業研究センター/芽室町 平成15～18年)

品種名	剥皮 褐変	肉質	水煮		食味	加工適性	
			煮崩れ	肉質		サラダ	コロッケ
はるか	微	やや粘	少	中上	中上	適	適
男爵薯	多	やや粉	中	中上	中上	適	適
さやか	少	少	中	中上	中上	適	不適

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 畑作物開発利用研究領域 パレイシヨ育種グループ
(TEL 0155-62-9272)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

いも類

【からゆたか】

いもの肥大が早く、
多収の青果用サツマイモ

いもの肥大が早く、育成地では植付後約100日で、いもの平均1個重が200gになります。1株当たりのいも数も多く、いも収量は「ベニアズマ」に比べて、栽培期間約100日で1.6倍以上、約120日間で1.4倍以上となり、ごく多収です。いもの外皮はやや滑らかで、条溝がなく、外観が優れます。蒸しいもの食味や糖度は「高系14号」並みで、肉質は粘質、焼きいもにも適します。つる割病に強く、「ベニアズマ」よりも貯蔵性が良いです。本品種の導入により、既存産地では早掘栽培の収量が向上するほか、栽培期間が限定される地域でのサツマイモ新規作付けが可能になります。当面は佐賀県で導入が見込まれています。



「からゆたか」の塊根

「からゆたか」の特性

品種名	早掘栽培						病虫害抵抗性				
	いも収量 (kg/a)	標準比 (%)	いも数 (個/株)	いも平均1個重 (g)	蒸しもの		貯蔵性	ネコブセンチュウ	つる割	黒斑	立枯
					食味	糖度					
からゆたか	324	185	3.6	235	中	18.6	中	中	強	中	中
標)ベニアズマ	176	100	2.4	193	やや上	18.1	難	中	中	中	強
比)高系14号	229	131	2.9	203	中	17.1	やや易	やや弱	中	やや強	弱

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 畑作物研究領域 カンショ・資源作物育種ユニット
(TEL 029-838-8500)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

【あいこまち】

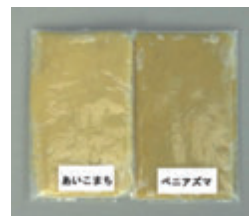
高品質で病虫害に強く、菓子にも
適する美味しいサツマイモ

蒸しいものの食味が「ベニアズマ」並みに優れ、糖度が高いです。また、蒸しいものの肉質が中～やや粉質で調理後黒変も少ないため、いもようかんや大学いもなどのいも菓子類への加工に適しています。いもの条溝がなく、「ベニアズマ」よりもいもの外観が良いです。いもの平均1個重は「ベニアズマ」よりやや軽く、いもが大きくなりすぎることはなく、いも収量は「ベニアズマ」とほぼ同等です。

サツマイモネコブセンチュウと黒斑病に強く、つる割病と立枯病に中程度の抵抗性を持っています。また、「ベニアズマ」よりも貯蔵性が良いです。栽培適地は全国のサツマイモ栽培地域で、関東地域の一部で生産が始まっています。



「あいこまち」の塊根



蒸しいもペースト

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 畑作物研究領域 カンショ・資源作物育種ユニット
(TEL 029-838-8500)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「あいこまち」の収量、蒸しいも品質、病虫害抵抗性

品種名	いも平均 収量 (kg/a)	蒸しいも 品質 (g)	貯蔵性				サツマイモ ネコブ センチュウ 抵抗性	病害抵抗性		
			食味	肉質	糖度	黒変		黒斑病	つる割病	立枯病
あいこまち	273	194	やや上	中～やや粉	6.9	やや小	中	強	強	中
ベニアズマ	269	269	やや上	粉	5.6	やや多	難	中	中	やや強
高系14号	299	241	上	中	5.4	中	易	やや弱	やや強	中

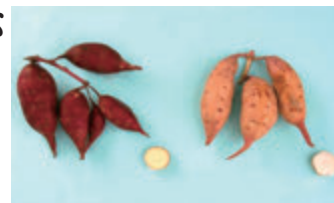
注) Brix 糖度 (%), 3 倍量の水で希釈し、屈折糖度計で測定。

いも類

【ほしこがね】きれいで美味しい干しいもが たくさんできるサツマイモ

淡黄色で外観が美しく、十分な甘みと上品な風味があり、おいしい干しいも（蒸切干）に加工できます。近年、「タマユタカ」で問題となっている干しいもの一部が白く硬化する「シロタ」と呼ばれる生育障害がほとんど発生しません。いもの収量は「タマユタカ」の9割程度とやや低いものの、条溝が無く、加工作業を行いやすいため、干しいもの生産コスト低減に貢献できます。サツマイモネコブセンチュウ抵抗性は強いです。

貯蔵中のでん粉の糖化が早く、収穫後早期の加工が可能なため、年末年始向けの年内出荷が可能です。栽培適地は全国の干しいも用サツマイモ栽培地域で、茨城県の干しいも用サツマイモ産地での栽培が始まっています。



「ほしこがね」(左)「タマユタカ」(右)の塊根



「ほしこがね」(左)「タマユタカ」(右)の干しいも

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 畑作物研究領域 カンショ・資源作物育種ユニット
(TEL 029-838-8500)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「ほしこがね」の収量、干しいも品質、病虫害抵抗性

品種名	いも 平均 収量 一個重 (kg/a) (g)	干しいも				貯蔵性	サツマイモ ネコブセンチュウ 抵抗性	病害抵抗性	
		食味	肉色	糖度	シロタ の発生			つる割病	立枯病
ほしこがね	336 274	やや上～上	淡黄	6.4	無	難	強	やや強	弱
タマユタカ	372 349	やや上	灰白	5.0	少	中	中	やや強	やや弱
泉13号	149 169	上	黄白	5.8	無	中	やや強	やや弱	やや弱

注) Brix 糖度 (%), 試料 2g を 18ml の水で希釈し、屈折糖度計で測定。

【タマアカネ】醸造適性が優れ、直播栽培に向く、 β-カロテン高含有のサツマイモ

β-カロテン含量が育成品種のなかで最も高く、外観、収量性に優れる醸造・加工用品種です。

「コガネセンガン」よりでん粉歩留まりが低いため、アルコール取得量は低いですが、高カロテンに由来する果実酒風の醸造酒や焼酎の原料に適します。熱帯果実のような特徴的で華やかな香味の焼酎に加工できます。

また、種いもを直接圃場へ植え付ける直播栽培適性に優れるため、機械化による省力化や作業時期の分散が可能です。生産コストの削減が期待できます。すでに南九州地域での普及が始まっています。



「タマアカネ」の塊根

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 畑作物研究領域 サツマイモ育種グループ
(TEL 0986-24-4273)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

「タマアカネ」の焼酎醸造試験結果

品種名	純アルコール取得量 (L/原料t)	焼酎の官能評価	
		評価点	概評
タマアカネ	132	1.76	甘み、まろやかさ、華やかさ、コク
ジェイレッド	143	2.05	ニンジン様の香り、焦げ臭

官能評価は酒造会社のパネラー 30 名による評価
評価点は1 (良) ~ 3 (悪) とした 3 点法の平均点

いも類

【サツママサリ・コガネマサリ】形状良く、貯蔵性に優れ、アルコール収得量が高い焼酎用サツマイモ

焼酎用の主力品種「コガネセングン」で問題となっているいも形状や病害抵抗性、貯蔵性といった弱点を改良した品種です。両品種とも条溝が少ないため「コガネセングン」より原料歩留が良く、さらには収量、でん粉歩留にも優れています。

焼酎醸造時のアルコール収得量も高く、官能試験では「サツママサリ」が「甘くフルーティーですっきりした味わい」、「コガネマサリ」が「華やかな香りで甘くすっきりした味わい」との評価を得ています。

サツマイモネコブセンチュウ抵抗性を備え、貯蔵中の腐敗も少ない両品種は、「サツママサリ」が鹿児島県、「コガネマサリ」は宮崎県での生産が始まっています。



「サツママサリ」と「コガネマサリ」の塊根



「サツママサリ」(左)と「コガネマサリ」(右)の焼酎

「サツママサリ」、「コガネマサリ」の諸特性

品種名	農業特性 ¹⁾					焼酎醸造適性 ²⁾	コメント
	上いも 収量 (kg/a)	でん粉 歩留 (%)	いもの 条溝	貯蔵性	ネコブ センチュウ 抵抗性	純アルコール 収得量 (L/原料t)	
サツママサリ	321	25.2	やや少	易	強	201	甘い、フルーティ、すっきり
コガネセングン	298	23.6	やや多	やや難	やや弱	191	蒸し芋香、甘い、普通
コガネマサリ	269	26.9	微	易	強	217	芳香、甘み、すっきり
コガネセングン	265	22.8	やや多	やや難	中	184	芋らしい、うま味、丸味

1)「サツママサリ」2006～2009年、「コガネマサリ」2007～2011年 2)「サツママサリ」2006～2009年、「コガネマサリ」2008、2009、2011年

【こなみずき】和菓子等の品質を長持ちさせる画期的なでん粉ができるサツマイモ

「こなみずき」の低温糊化性でん粉は、でん粉粒の中央に亀裂をもつ特殊な形態を示し、従来のでん粉用品種「シロユタカ」より約 20℃低い温度で糊化します。

糊化後に冷蔵保存した場合、離水率や硬度が「シロユタカ」より大幅に低く、耐老化性に優れています。

この特徴を活かして、加工処理しない天然でん粉のまま、葛餅、わらび餅や落花生豆腐などの食品を製造しても、形や柔らかさを長期間保持できます。

南九州地域での普及が始まっており、こなみずきでん粉を使った食品の開発・販売が進められています。



「こなみずき」の塊根



こなみずきでん粉ゲル(左)は、冷蔵4日後でも弾力性があるが、従来カンショでん粉ゲル(右)は弾力性がなくなり、ひび割れてしまう。

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
九州沖縄農業研究センター 畑作研究領域 サツマイモ育種グループ
(TEL 0986-24-4273)
- 種苗の入手先について
九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)
- 生産物の購入について
日本澱粉工業株式会社(でん粉製品)
(TEL 099-269-1011) (FAX 099-284-5225)

「こなみずき」のでん粉の特性

品種名	糊化開始 ¹⁾ 温度 (℃)	離水率 ²⁾ (%)		硬度 ²⁾ (N)		
		4週間後	10週間後	2時間後	4週間後	10週間後
こなみずき	58.1	0.0	0.0	0.35	0.44	0.46
シロユタカ	75.5	19.3	23.3	0.45	1.64	2.02

1) でん粉濃度 7% でラビッドビスコアライザー (RVA) により測定した。

2) でん粉濃度 8% のゲルを 5℃ で保存して老化性の指標である離水率と硬度を測定した。

雑穀・工芸作物

【レラノカオリ】 大粒で製粉特性に優れるソバ

「キタワセソバ」よりも大粒で製粉特性が優れる品種です。またやや早熟で、草丈がやや低く、多収です。またコンバイン収穫適期（黒化率 90%）で多収であることに加え施肥反応にも優れています。平成 24 年から一般栽培が開始され、深川市、新得町を中心に栽培されています。平成 24 年は約 10ha、平成 25 年は約 200ha、平成 27 年は約 1000ha の栽培面積で順調に普及が進んでいます。



開花最盛期頃の「レラノカオリ」

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 畑作物開発利用研究領域 資源作物グループ
(TEL 0155-62-9272)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

「レラノカオリ」の特性

品種名	北農研(芽室町、平成21～23年)						実務者評価(平成21～23年)		深川市(平成22～23年)		旭川市(平成22～23年)	
	播種期 (月・日)	成熟期 (月・日)	草丈 (cm)	子実重 (kg/10a)	キタワセ比 (%)	千粒重 (g)	脱皮歩留 (%)	製粉歩留 (%)	子実重 (kg/10a)	キタワセ比 (%)	子実重 (kg/10a)	キタワセ比 (%)
レラノカオリ	6.02	8.15	105	187	100	30.7	70.8	64.8	189	111	122	105
キタワセソバ	6.02	8.17	112	187	100	29.5	67.9	62.1	170	100	117	100

【にじゆたか】 倒れにくく、大粒で子実外観に優れ、多収で良食味の秋収穫向けソバ

耐倒伏性に優れ、千粒重が約 36 g、容積重が約 630 g になり大粒で子実外観が良いそばです。寒冷地から温暖地にかけての秋収穫用ソバとして栽培できます。

育成地（盛岡市）の 7 月下旬播種成績では、標準品種「階上早生」に比べ生育期間は 4 日程度遅れますが、4% ほど多収になります。岩手県平野部では遅くとも 8 月初旬までに播種するようにします。過度の窒素施肥や密植を避け、がっしりとした草姿に仕上げて子実をよく充実させ、適期収穫に努めます。既存品種と同様に、十分な圃場排水対策と、隔離採種による特性維持に努めるとともに、計画的に種子更新することが望まれます。加工適性および食味についての実需評価も良好です。



「にじゆたか」（上段）と「階上早生」（下段）の子実

「にじゆたか」の生育および品質特性

調査項目／品種	にじゆたか	階上早生
収量(kg/a)	19.7	19.0
草丈(cm)	121	111
倒伏程度 ¹⁾	1.0	2.3
育成期間(日)	69	65
そば粉白度 ²⁾	71.6	69.9
味 ³⁾	5.8	5.0
香り ³⁾	5.3	5.0

1) 無：0～微：1～少：2～中：3～多：4～甚：5の6段階評価
2) ロール製粉、色相（湿式）測定に基づく値（平成 21、22 年東北農研センター産の実需評価平均値、以下同じ）
3) ロール製粉・機械製麺（そば粉 4 割）による官能評価基準を 5 点とし、香り、味（甘み）が良ければ加算

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 畑作物育種グループ
(TEL 019-643-3698) (FAX 019-641-7794)

●東北農業研究センター 企画部

(TEL 019-643-3437) (FAX 019-643-3405)



「にじゆたか」（右）と「階上早生」（左）の倒伏程度の差

雑穀・工芸作物

【満天きらり】

ルチンの多い麺・菓子に 最適なダットンソバ品種

ダットンソバは抗酸化能や脂質代謝改善効果を有するとされるルチン（ポリフェノールの一種）が普通ソバの100倍程度多いことが特徴です。しかし、強烈に苦いため別名「苦蕎麦」と呼ばれ、また粉は極めて強力なルチン分解酵素を含むため、加水するとルチンの大部分が瞬時に分解されてしまいます。「満天きらり」は、苦みがかなり弱いため食味に優れます（図1）。また、粉のルチン分解酵素活性が極めて弱いため、結果として食品中のルチン含量が多くなります（図2）。さらに、「満天きらり」を50%配合した麺の抗酸化能の指標であるORAC値は126（ $\mu\text{molTE/g}$ ）とかなり高くなります。そば以外にも、パスタ、パン、菓子等にも利用可能です。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 畑作物開発利用研究領域 資源作物グループ
(TEL 0155-62-9272)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

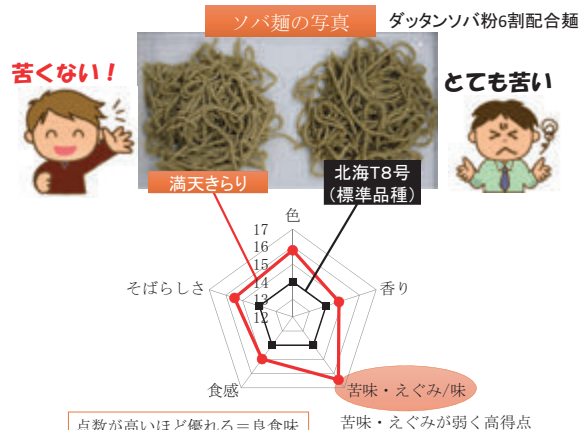


図1 「満天きらり」配合麺の食味評価結果

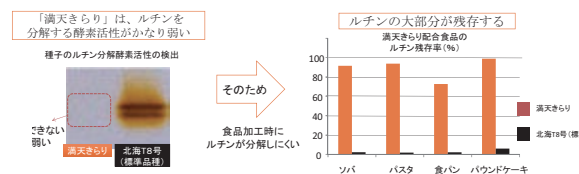


図2 「満天きらり」配合食品のルチンが多くなる理由

【あきしずく】

病気に強く収量も多い、 栽培しやすいハトムギ

在来種のハトムギに比べて、主要病害の「葉枯病」に強く、背丈が低い倒れにくく、栽培しやすい品種です。子実が穂から落ちにくいので、完熟してから収穫でき、収量も在来種より多いのが特長です。九州の他、富山県などでも普及が進んでおり、今では全国の生産量の8割を占めています。各地で地域特産作物として健康食品等の製品に加工されています。



「あきしずく」の子実（原粒と精白粒）



「あきしずく」の植物体

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 作物開発利用研究領域 大豆・資源作物育種グループ
(TEL 096-242-7636)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

「あきしずく」の品種特性

品種名	開花期 (月・日)	成熟期 (月・日)	草丈 (cm)	子実重 (kg/a)	百粒重 (g)	精白粒 白度	葉枯病 抵抗性
あきしずく	7.22	9.22	107	19.0	8.8	69.9	やや強
はとむすめ	7.18	9.22	114	15.6	8.5	69.7	やや弱
はとひかり	7.20	9.24	114	14.2	10.1	68.8	中

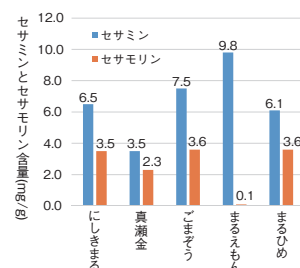
雑穀・工芸作物

【にしきまる】セサミンとセサモリンを多く含む金ゴマ

ゴマに含まれるゴマリグナンのセサミンとセサモリンは肝機能の向上効果やコレステロール値の低下作用など様々な生理活性があることが報告されています。新品種「にしきまる」はセサミンやセサモリンが市販品よりも多く含まれる金ゴマです。これまでに育成した高リグナン品種の褐色ゴマ「ごまぞう」、黒ゴマ「まるえもん」、白ゴマ「まるひめ」に金ゴマ「にしきまる」が加わりました。「にしきまる」は「ごまぞう」よりも熟期が早く、草丈が低いため栽培しやすく、「まるえもん」や「まるひめ」よりも収量が多い品種です。金ゴマの特性を生かした機能性の高い商品の開発などによって国産ゴマの生産振興に役立つことが期待できます。



「にしきまる」の種子
上段左まるえもん 上段右ごまぞう
下段左まるひめ 下段中にしきまる 下段右真瀬金



【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター カンショ・資源作物育種ユニット
(TEL 029-838-8393)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「にしきまる」の主な特性

品種	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)	草丈 cm	一次分枝数 本	萎ちょう病 抵抗性	子実収量 kg/10a	千粒重 g
にしきまる	7.25	9.06	146	3.1	中	162	2.4
真瀬金	7.23	9.09	158	1.0	中	155	2.5
ごまぞう	7.26	9.21	159	3.0	やや弱	178	2.4
まるえもん	7.21	9.04	121	3.9	—	124	2.4
まるひめ	7.19	8.28	129	4.6	—	122	2.1

「にしきまる」のセサミンとセサモリン含量

【北海みつぼし】高温・多湿な条件でも安定栽培が可能なテンサイ

褐斑病、黒根病およびそう根病の3つの主要病害抵抗性を集積した品種です。このため、病害の発生による糖量の減収を回避でき安定栽培が可能です。抽苔発生が多くなる場合があるため、早期播種や、育苗中の過度の低温による馴化処理は避けてください。



褐斑病抵抗性「強」 「北海みつぼし」
褐斑病抵抗性「弱」 「かちまる」
黒根病抵抗性「強」 「北海みつぼし」
黒根病抵抗性「やや弱」 「カブトマル」
褐斑病および黒根病が多発するほ場における両病害発生程度
(2010年10月撮影)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 畑作物開発利用研究領域
テンサイ育種グループ
(TEL 0155-62-9271)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 011-857-9257) (FAX 011-859-2178)

「北海みつぼし」の特性

品種名	根重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)	褐斑病 抵抗性	黒根病 抵抗性	そう根病 抵抗性	抽苔 耐性
北海みつぼし	7.42	15.88	1,178	強	強	強	やや強
かちまる	7.42	15.95	1,186	弱	やや強	—	強
レミエル	6.96	16.24	1,133	弱	中	—	強
リッカ	7.79	16.02	1,248	やや強	中	強	強

注) 「かちまる」、「レミエル」、「リッカ」は作付面積が多い上位3品種(2012年)

雑穀・工芸作物

【 ななはるか 】

早生で暖地向きの 無エルシン酸ナタネ品種

「ななしきぶ」より早生で、暖地での栽培に適した無エルシン酸のナタネ品種です。鹿児島県東串良町の現地試験の結果、「ななしきぶ」より成熟期が早く、収油量が「ななしきぶ」と同程度と認められました。



「ななはるか」の開花の様子

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
東北農業研究センター 畑作園芸研究領域
畑作物育種グループ
(TEL 019-643-3655)
- 種苗の入手先について
東北農業研究センターホームページにて公開しています。http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/symple_blog/hinsyu/025655.html

鹿児島県東串良町における「ななはるか」の特性

品種・系統名	成熟期 (月.日)	草丈 (cm)	子実重 (kg/a)	ななしきぶ比 (%)	含油率 (%)	収油量 (kg/a)	ななしきぶ比 (%)
ななはるか	5.12	132	33.3	94	42.8	14.5	99
ななしきぶ	5.16	130	35.4	100	41.1	14.6	100

注) 2011～2012年の平均値

【 キタノキラメキ 】

越冬性が優れ、多収の 寒地向きの無エルシン酸品種

寒地向きの食油に適した無エルシン酸ナタネ品種です。(地独)北海道立総合研究機構の試験結果により、越冬性が優れ、含油率が高く、多収であることが認められました。



「キタノキラメキ」の越冬後の様子

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 畑作物育種グループ
(TEL 019-643-3655)
- 種苗の入手先について
東北農業研究センターホームページにて公開しています。http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/symple_blog/hinsyu/025655.html

北海道立総合研究機構十勝農業試験場における「キタノキラメキ」の品種比較試験結果

品種・系統名	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)	越冬株率 (%)	草丈 (cm)	子実重 (kg/a)	キザキノナ タネ比 (%)	含油率 (%)
キタノキラメキ	5.29	7.23	85	180	24.3	116	45.3
キザキノナタネ	5.28	7.20	74	161	20.9	100	39.8

注) 2009～2010年の平均値

雑穀・工芸作物

【さえあかり】

栽培しやすく、一番茶、夏茶ともに品質が良好なやや早生の品種

強健で多収な系統「Z1」と、高品質で玉露としても優れている早生の「さえみどり」の子供です。炭疽病と輪斑病に強く、栽培しやすいやや早生の多収品種です。一番茶の摘採期は「さえみどり」と「やぶきた」の中間で、摘採期の分散化にも利用できます。また、「さえみどり」よりも耐寒性が強く、栽培適応範囲が広いので、「さえみどり」の栽培がやや困難な地域や「やぶきた」の更新が必要な地域において導入が期待されています。

耐病性が強く、一番茶だけでなく、夏茶の品質・収量も優れることから、収益性が高い品種と言えます。クワシロカイガラムシには抵抗性がないので、多発地域では防除が必要です。



「さえあかり」一番茶摘採期の園相



「さえあかり」一番茶の新芽
(左:さえあかり 右:やぶきた)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶育種ユニット
(TEL 0993-76-2126) (FAX 0993-76-2264)

●種苗の入手先について

果樹茶業研究部門 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-6453) (FAX 029-838-6440)

「さえあかり」の栽培特性と生葉収量

品種名	一番茶		病害抵抗性		耐寒性		生葉収量(kg/10a)			
	萌芽期 (月.日)	摘採期 (月.日)	炭疽病	輪斑病	赤枯れ 抵抗性	裂傷型 凍害抵抗性	一番茶	二番茶	三番茶	年間 収量
さえあかり	3.17	4.14	やや強	強	中	中	384	406	339	1130
さえみどり	3.12	4.10	中	弱	やや弱	やや強	226	256	197	679
やぶきた	3.22	4.18	弱	弱	やや強	中	252	176	148	577

注) 2006～2009年の枕崎拠点の平均値を示す

【なんめい】

高品質で病害虫に対し複合抵抗性を有する早生品種

茶の重要病害虫であるクワシロカイガラムシと輪斑病に強度抵抗性、炭疽病に中度抵抗性を有した煎茶用の早生品種です。色沢に優れ、早生品種の一番茶新芽の色が黄色くなりやすい暖地において、被覆をしなくても荒茶の色沢は濃緑になります。香気に特徴があり、滋味にも優れています。早生品種であるため凍霜害には弱く、栽培適地は九州南部などの暖地・温暖地です。

重要病害虫に抵抗性を有していることから化学農薬使用量を削減でき、有機栽培や無農薬栽培対応型の品種として期待されており、輸出対応にも適していると思われます。



「なんめい」の一番茶新芽

「なんめい」の重要病害虫抵抗性

品種名	クワシロカイガラムシ	輪斑病	炭疽病
なんめい	強	強	中
やぶきた	弱	弱	弱
さえみどり	弱	弱	中

「なんめい」の栽培特性

品種名	早晩性	樹姿	樹勢	一番茶		生葉収量(kg/10a)			製茶品質		耐寒性	
				萌芽期 (月.日)	摘採期 (月.日)	一番茶	二番茶	三番茶	一番茶	赤枯れ 抵抗性	裂傷型 凍害抵抗性	
なんめい	早生	やや直立	やや強	3.12	4.14	352	298	229	30.7	やや強	弱	
やぶきた	中生	やや直立	中	3.22	4.20	249	166	164	27.4	強	中	
さえみどり	早生	やや開張	中	3.13	4.13	224	219	166	30.6	やや強	中	

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶育種ユニット
(TEL 0993-76-2126) (FAX 0993-76-2264)

●種苗の入手先について

果樹茶業研究部門 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-6453) (FAX 029-838-6440)

雑穀・工芸作物

【そうふう】 ジャスミン系の香りを有し、煎茶・釜炒り茶・半発酵茶に適する品種

ジャスミン系の香りを有し、煎茶、釜炒り茶、半発酵茶としての品質が優れます。重要病害である炭疽病に中程度、輪斑病に強い抵抗性を有しています。摘採期は中生の「やぶきた」よりも約1週間早く、暖かい地域での栽培に適しています。晩霜害や冬季の低温による寒害を受けやすく、赤焼病に弱いので、寒冷地での栽培には適していません。現在、鹿児島県を中心に、静岡県や佐賀県で生産され、生産者によって煎茶、半発酵茶、蒸し製玉緑茶など異なる製茶法で製造されています。早生、特徴ある香気、機能性成分ケルセチン配糖体高含量、等の特性を活かして、摘採期の分散化や商品のバリエーションを増やすことができます。



一番茶の新芽

半発酵茶の形状

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶育種ユニット
(TEL 0993-76-2126) (FAX 0993-76-2264)

●種苗の入手先について

果樹茶業研究部門 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-6453) (FAX 029-838-6440)

●生産物の購入について

釜炒り茶: 太田康文 (TEL 0945-43-2717)
深蒸し茶: 真茅文男 (TEL 0993-76-3425)
蒸しぐり茶: 徳之島製茶 (TEL 0997-85-4863)

「そうふう」の香りを活かした製茶法と利用場面



- 煎茶 → 和食・和菓子に
- 釜炒り茶 → 韓国料理や味の濃い和食に
- 半発酵茶 → 中華料理など香りの強い料理に

【サンルージュ】 アントシアニンを多く含む赤いお茶

高アントシアニン品種の育成を目的に民間企業（日本製紙株式会社）と共同で初めて開発した品種です。アントシアニンだけでなく通常の茶に含まれるカテキンやカフェインなども含まれています。茶としての品質は、苦味や渋味が強く、飲み方に工夫が必要ですが、酸性条件下では抽出液の色が酸度によってピンクや赤に変化するため、アントシアニンやカテキンの機能性だけでなく、天然色素としての利用も考えられます。「サンルージュ」は耐寒性が弱いこと、気温が高い方がアントシアニン含量が高いために、現在鹿児島県の徳之島（天城町）で栽培が拡大しています。



「サンルージュ」の新芽



「サンルージュ」の水色と茶の色

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶育種ユニット
(TEL 0993-76-2126) (FAX 0993-76-2264)

●種苗の入手先について

果樹茶業研究部門 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-6453) (FAX 029-838-6440)

●生産物の購入について

徳之島製茶 (TEL 0997-85-4863)
日本製紙株式会社新事業開発部アグリ事業グループ
(TEL 03-6665-1048)



酸度によって変化する「サンルージュ」抽出液の色

果樹

【 もりのかがやき 】 大果で甘く、芳香があり、食味に優れる黄色リンゴ

果実は大きく、多汁で歯ざわりが良く、甘味と芳香があり、品質が優れます。黄色品種のため着色管理作業が不要なうえ、果面のさびの発生が少なく、無袋栽培でもきれいな果実に仕上がります。育成地（盛岡市）で10月中旬頃に収穫できる中生品種で、結実が安定して豊産性です。果実の日持ち性は良好です。収穫期における裂果、落果、また地域や年によっては果肉の褐変症状が発生することがあります。

北海道、東北から北信越にかけてのリンゴ産地で導入が可能であり、岩手県等で植栽が始まっています。



「もりのかがやき」の結実状況

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域
(TEL 019-645-6154) (FAX 019-641-3819)

●種苗の入手先について

(社)日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

「もりのかがやき」の特性

品種名	収穫日 (月.日)	果実重 (g)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	肉質	粉質化の 難度	みつの 多少
もりのかがやき	10.22	374	15	0.24	中	難	無～少
ジョナゴールド	10.27	327	14.1	0.46	中	易	無～少
ふじ	11.16	302	13.9	0.36	中	難	多

果樹研究所（盛岡市）2004～2008年平均

【 ルビースイート 】 果肉が赤く大果で甘い生食加工兼用リンゴ

育成地（盛岡市）で10月中下旬に収穫できる中生品種で、「紅玉」とほぼ同時期に収穫できます。通常のリンゴ品種に準じた防除により、斑点落葉病の発生を防ぐことが可能です。果実は大きく、果皮と果肉が赤く着色します。果面にさびはほとんど発生しません。果肉色、果汁の色が赤～淡赤色で、その色調を活かして特徴あるジュースやジャムなどの加工品製造に利用できます。「ピンクパール」など既存の赤肉品種より多汁で、酸味は少なく、食味が良いことから、生食用にも適します。



「ルビースイート」の結実状況



「ルビースイート」の果実

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域
(TEL 019-645-6154)
(FAX 019-641-3819)

●種苗の入手先について

(社)日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126)
(FAX 03-3523-1168)

「ルビースイート」の特性

品 種	収穫日 (月.日)	果実重 (g)	果皮色	果肉色	果汁 の 量	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)	斑点落葉病 発生程度
ルビースイート	10.20	450	赤・縞	桃～赤	中～多	14.5	0.36	無
ピンクパール	09.16	312	黄	淡桃～桃	やや少	12.3	1.13	無
紅玉	10.21	223	濃赤	黄白	中	15.1	0.93	無
ふじ	11.13	340	赤・縞	黄白	多	15.0	0.41	無～少

果樹

【^{たいほう}太豊】 種なし栽培可能、 良食味な晩生の完全甘ガキ

「富有」と同時期に熟する晩生の完全甘ガキ品種です。果実の大きさは「富有」並みか「富有」よりやや大きく、サクサクとした食感があり、柔軟多汁で食味が優れます。果頂裂果は生じず、へたすきもわずかにしか発生しません。種なし果でも早期落果が少なく、後期落果も生じないため結実が安定しています。受粉樹がない条件での栽培では種なし果生産が可能です。「富有」栽培地域で栽培可能です。



「太豊」の果実



「太豊」の種なし果実

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹茶業研究部門 ブドウ・カキ研究領域
(TEL 0846-45-4740) (FAX 0846-45-5370)
- 種苗の入手先について
(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

「太豊」の特性

品種名	収穫日	果実重 (g)	糖度 (%)	肉質の 粗密	硬度 (kg)	果汁の 多少	果頂裂果 (%)	へたすき (%)
太豊	11.22	336	16.6	中	1.6	多	0	2
富有	11.22	283	16.2	中	1.9	多	0	2

果樹研究所ブドウ・カキ研究拠点（広島県東広島市）、2010～2013年の平均値

【^{かんた}甘太】 晩生品種の需要を大きく広げる 高糖度ニホンナシ新品種

主要な晩生品種である「新高」に近い時期に収穫される品種です。「新高」より果肉が軟らかく、糖度が高いため、食味が優れるのが特徴です。早生の「幸水」や中生の「豊水」と比較しても糖度が高い良食味品種です。樹勢が強く、花芽の着生が安定しているため、豊産性です。



「甘太」の果実

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹茶業研究部門 品種育成研究領域
(TEL 029-838-6464) (FAX 029-838-6437)
- 種苗の入手先について
(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

「甘太」の特性

品 種	果実重 (g)	果肉硬度 (lbs.)	糖度 (%)	pH
甘 太	571	4.4	14.7	4.6
幸 水	381	5.4	13.0	5.2
豊 水	477	5.1	13.1	4.7
新 高	703	6.9	12.6	4.8

果樹

【^{りんか}凧夏】 暖地でも花芽枯死の少ない 早生のニホンナシ

地球温暖化の進行により、暖地では「幸水」等で花芽が枯死する等の障害が発生し、生産が不安定となっています。「凧夏」は、暖地でも安定して花芽が着生し、安定生産が可能な温暖化に対応する品種です。「幸水」とほぼ同時期に成熟する早生の品種で、果実品質も「幸水」と同程度です。



「凧夏」の果実

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹茶業研究部門 品種育成研究領域
(TEL 029-838-6464) (FAX 029-838-6437)
- 種苗の入手先について
(社)日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

【ジェイドスイート】 果実が大きく、甘くて極多汁な 早生セイヨウナシ品種

寒冷地向きセイヨウナシ早生品種です。育成地（札幌市）では9月上中旬が収穫時期です。果実重約 290 g、追熟後の糖度約 13 ~ 14%、酸含量約 0.15 g/100ml、適切に追熟させると甘くて極多汁で食味が優れます。追熟は適期収穫後 15℃恒温で行うと、通常 10 ~ 14 日程度で果皮に緑色が少し残る薄黄色になり適食期となります。

留意点：果皮が傷つきやすいため栽培・収穫には注意が必要です。育成地（札幌市）では満開後 110 ~ 120 日で収穫適期ですが、生産地ごとに収穫適期判定基準を作成する必要があります。追熟を 20℃以下で行うと障害の少ない果実に仕上がることで、および、追熟後果皮色が完全な黄色になると過熟で内部褐変が始まっている場合があることを、果実販売時に表示して下さい。

「ジェイドスイート」の果実（収穫期（札幌市）：満開後 115 日）



「ジェイドスイート」の収穫・追熟時の果皮色の変化
左：追熟前（収穫時）、中央：追熟、右：やや過熟



【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
北海道農業研究センター 作物開発研究領域 園芸作物育種グループ
- 種苗の入手先について
北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

「ジェイドスイート」の特性

品種	果形	果実重 (g)	糖度 (Brix)	酸度 (g/100ml)	追熟時の硬度 (lbs)z	果汁の多少	肉質	追熟の難易	日持ち y
ジェイドスイート	びん	286	14.9	0.15	2.0	極多	密	易	3日
パートレット	びん	270	11.9	0.23	2.1	やや多	やや粗	易	3日
ブランディワイン	円錐	196	14.8	0.18	1.6	多	中	やや難	5日
ラ・フランス	倒卵	180	16.2	0.23	2.3	多	やや密	易	10日

(北海道農研（札幌市）2007 ~ 2009 年平均)

z：追熟後の食べ頃の硬度、y：追熟果実の5℃冷蔵での日持ち

果樹

【つきあかり】 甘味が強く、食味が良く、無袋栽培可能な黄肉モモ

甘みが強く、香りの良い黄肉モモで、品質のばらつきが少なく消費者に自信をもって販売できるモモ品種です。

果実の大きさは 220 ～ 280 g 程度で、糖度が 14% 程度と同時期のモモよりは糖度が高く食味が良好です。袋かけしないで栽培できます。着色が少なく、外観から黄肉であることが分かります。

収穫期は「あかつき」の 1 週間後頃で、現在の黄肉モモの主力品種である「黄金桃」よりも 2 週間程度早く収穫できます。



「つきあかり」の果実

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹茶業研究部門 品種育成研究領域
(TEL 029-838-6466) (FAX 029-838-6437)
- 種苗の入手先について
(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

「つきあかり」の特性

品種名	収穫盛期	着色の多少	裂果の発生	果肉色	果実重(g)	糖度(%)	酸度(pH)
つきあかり	7.31	少	少	黄	226.0	14.0	4.58
あかつき	7.24	やや多	無	乳白	288.8	13.1	4.52
黄金桃	8.16	やや多	中	黄	339.6	14.6	4.03

果樹研究所(つくば市)、2001～2007年平均、無袋栽培

【ひめこなつ】 極早生で食味良好な黄肉モモ

満開後 60 日程度で収穫できる極早生の黄肉モモで、出荷時期の拡大が可能なモモ品種です。

果実の大きさは 120 g 程度と小さめですが、糖度が 12% 程度と早生品種としては高く食味が良好です。着色が多く、袋掛けしないで栽培できます。

神奈川県などで直売所向けとして栽培されています。



「ひめこなつ」の結実状況

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹茶業研究部門 品種育成研究領域
(TEL 029-838-6466) (FAX 029-838-6437)
- 種苗の入手先について
(社) 日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

「ひめこなつ」の特性

品種名	収穫盛期	果肉色	果実重(g)	糖度(%)	酸度(pH)
ひめこなつ	6.12	黄	117	12.3	4.55
ちよひめ	6.26	白	171	11.2	4.57
ちよまる	6.29	黄	194	11.0	4.62

果樹

【クイーンニーナ】 赤色・極大粒で種なし 栽培可能な良食味ブドウ

「巨峰」と同時期かやや遅い時期に成熟する極大粒の赤色ブドウです。果皮は鮮やかな赤色で、果実は高糖度、低酸含量、果肉はかみ切りやすく硬いため、食味が優れます。フォクシー香の良香があります。「ピオーネ」や「巨峰」などと同様、植物生長調節剤処理によって種なし果実が生産できます。花芽の着生が良いため、短梢剪定でも栽培可能です。全国のブドウ栽培地域で栽培が可能です。



「クイーンニーナ」の果実

【問い合わせ先】

●品種の特徴について
果樹茶業研究部門 ブドウ・カキ研究領域
(TEL 0846-45-4740) (FAX 0846-45-5370)

●種苗の入手先について
(社)日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

「クイーンニーナ」の特性

品種名	収穫日	果粒重 (g)	果皮色	糖度 (%)	酸含量 (g/100ml)	果肉特性	果肉硬度	渋味
クイーンニーナ	9.01	17.6	赤	21.7	0.37	かみ切りやすい	硬	なし
巨峰	8.27	12.4	紫黒	19.3	0.50	中間	中	なし
ピオーネ	8.27	16.7	紫黒	19.5	0.45	中間	中	なし

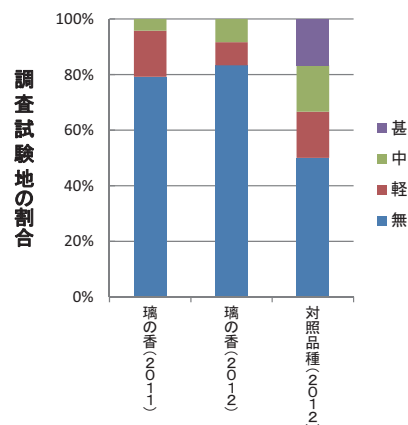
果樹研究所ブドウ・カキ研究拠点（広島県東広島市）、2004～2008年の平均値。いずれの品種もジベレリンを用いた種なし栽培

【璃の香】 かいよう病に強く、豊産性のレモン

かいよう病に強く、隔年結果性が低い豊産性のレモン品種です。果実は200g程度と大果で、11月下旬頃から成熟期を迎えます。一般的なレモンより果皮が薄く、酸含量が低く、やや弱いレモン類似の芳香を持つのが特徴です。果肉歩合および搾汁率が高く加工適性があり、まろやかな酸味を生かした新たな素材としての需要が期待されます。



璃の香の果実



育成地および公立試験研究機関（24機関）で試験栽培した「璃の香」のかいよう病発生程度

【問い合わせ先】

●品種の特徴について
果樹茶業研究部門 カンキツ研究領域
(TEL 054-369-7109) (FAX 054-369-2115)

●種苗の入手先について
(社)日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

「璃の香」の特性

品種名	果皮			果実	
	色	厚さ (mm)	香りの量	果実重 (g)	果肉歩合 (%)
璃の香	緑黄～橙黄	3.0	中	198	79.3
マイヤーレモン	黄橙～橙黄	4.6	多	169	73.0
リスボンレモン	黄～黄橙	6.4	多	155	60.1

果樹研究所カンキツ研究拠点、2010～2012年
璃の香は11月20日、マイヤーレモン、リスボンレモンは12月20日に調査分析した

果樹

【みはや】

果皮が赤く美しく、 高品質の早生のみかん

11月下旬から成熟期を迎える早生品種で、果実は190g程度とウンシュウミカンと比べ大きく、果皮は赤橙色で外観が美しく、ウンシュウミカンとの区別性があります。芳香があり、糖度が高くて酸味が少なく食味に優れ、じょうのう膜がやや軟らかく食べやすい商品性の高い果実の生産が可能です。また、浮皮が発生しにくく、種なし果の割合が高いという特長もあります。さらに、果肉には機能性成分のβ-クリプトキサンチンをウンシュウミカンと同程度に多く含んでいます。

この品種は、年内収穫が可能であり、わが国のほとんどのカンキツ栽培地帯に適応します。



「みはや」の果実

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹茶業研究部門 カンキツ研究領域
(TEL 054-369-7109) (FAX 054-369-2115)
- 種苗の入手先について
(社)日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)

「みはや」の特性

品種名	果実重 (g)	果皮色	剥皮の しやすさ	浮き皮 の発生	じょうのう 膜の硬軟	糖度計 示度(%)	クエン酸 含量(%)	種なし果 の多少	β-クリプト キサンチン含量 (mg/100g)	成熟期 (月旬)
みはや	195	赤橙	やや易	無	やや軟	12.2	0.6	多	1.48	11下
興津早生	136	濃橙	易	少	軟	9.9	0.6	多	1.53	11中

農研機構果樹研究所カンキツ研究口之津拠点 2010年 果実特性の調査は12月10日に実施
種なし果の多少:無:無し、少:種なし果が1/3未満、中:種なし果が1/3以上2/3未満、多:種なし果が2/3以上
β-クリプトキサンチン含量:果肉100g当たり、2006～2008年の3年間の平均

【つゆあかね 露茜】

赤い色素たっぷり 梅酒・梅ジュース用品種

スモモとウメの雑種で、果皮がほぼ全面に赤く着色し、果肉も鮮紅色に着色する品種です。つくば市での収穫期は7月中旬で、「南高」より3週間程度遅いです。酸味が強く生で食べることはできませんが、梅酒や梅ジュース、梅ジャムにすると、きれいな紅色になります。赤色の果汁を生かしたウメ加工品など、新需要を見込める素材です。果実は50～70gと大きく、核(種)が小さく果肉割合が高いです。酸は「南高」と較べて30%程度少なく、多量に糖類を加えることなく加工できるので、お菓子や料理などへの幅広い利用が考えられます。現在、茨城県、宮崎県、和歌山県等で植栽が始まっています。



「露茜」の結実状態

「露茜」の果肉



「露茜」の梅酒、梅ジュース

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
果樹茶業研究部門 品種育成研究領域
(TEL 029-838-6466) (FAX 029-838-6437)
- 種苗の入手先について
(社)日本果樹種苗協会
(TEL 03-3523-1126) (FAX 03-3523-1168)
- 生産物の購入について
果樹茶業研究部門 企画管理部 企画連携室
(TEL 029-838-6443) (FAX 029-838-6440)

「露茜」の特性

品種名	果実重 (g)	核の重さ (g)	果肉歩合 (%)	酸含量 (g/100ml)
露茜	52	1.9	96.3	3.9
南高	47	3.6	92.4	5.5

花・野菜

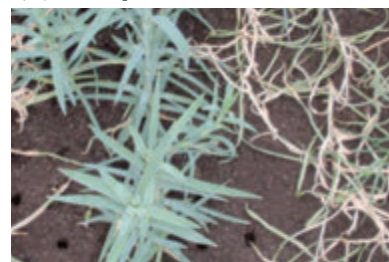
【^{かれん}花恋ルージュ】 病気に負けない真っ赤で可憐なカーネーション

カーネーション栽培の重要病害である萎凋（いちよう）細菌病に極めて強い抵抗性を持つ世界で初めての品種です。近縁の野生種 *Dianthus capitatus* の有する抵抗性を 15 年以上かけて交配と選抜を繰り返し、カーネーションに導入しました。

特に病害の発生が予想される暖地における栽培での利用が期待されます。花の大きさは約 7.5cm、赤色の大輪スタンダードの中生品種です。病気に負けない真っ赤なカーネーションは、母の日の贈り物としても最適です。



「花恋ルージュ」



萎凋細菌病抵抗性検定の様子
左：花恋ルージュ 右：フランセスコ

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜花き研究部門 花き遺伝育種研究領域 品質育種ユニット
(TEL 029-838-6801)

●種苗の入手先について

野菜花き研究部門 企画部企画連携室
(TEL 029-838-6574) (FAX 029-838-8528)

「花恋ルージュ」の特性

品種名	草丈 (cm)	花の大きさ (cm)	切り花重 (g)	茎の太さ (mm)	年間収量 (本/株)	萎凋細菌病発病率 (%)
花恋ルージュ	97.3	7.5	22.0	4.1	4.5	7.1
フランセスコ	102.6	7.6	20.2	4.1	5.0	87.0

【^{とよゆきひめ}豊雪姫・なつあかり】 寒冷地・高冷地の気候を活かして端境期に生産できるイチゴ

イチゴは、ケーキ用として年間を通して需要がありますが、初夏～秋は端境期となっています。寒冷地・高冷地では、その涼しい気候を活かして、イチゴの端境期に果実を収穫する半促成栽培、露地栽培、夏秋どり栽培が行われています。

「豊雪姫」は、極晩生の一季成り性イチゴ品種で、半促成栽培および露地栽培において、晩春～初夏に果実を収穫することができます。果実は円錐形で、形の乱れや小果が少なく、高い収量が得られます。また、炭疽病に対して抵抗性を有しています。

一方、「なつあかり」は四季成り性品種であり、晩春～秋まで果実を収穫できます。「なつあかり」は糖度が高く、一季成り性品種と同等の美味しさをもつイチゴです。



「豊雪姫」の果実



「なつあかり」の果実

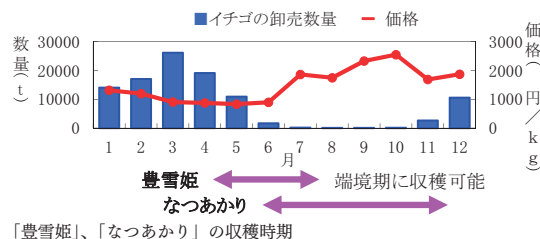
【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 施設野菜・育種グループ
(TEL 019-641-9204)

●種苗の入手先について

東北農業研究センターホームページにて公開しています。https://www.naro.affrc.go.jp/tarc/symple_blog/hinsyu/025658.html



花・野菜

【桃薫】 贈答用・業務用として差別化の可能な特徴的な香りを持つ新しいフルーツ

桃やコconaツツ、カラメルのような香り成分が多く含まれているため、今までのイチゴとは違った香りが楽しめます。淡く優しい色合いは目を引き、切り口も白色。柔らかい果肉と広がる香りは未体験の衝撃です。生育は旺盛で、増殖や栽培は容易です。花数が多く、収穫開始時期は遅めですが、春までの全期間の収量は多く、収量性に優れています。今までのイチゴとは香りも外観も異なる新しいフルーツ「桃薫」は、高級贈答用として、またケーキの素材として注目を集めています。多くの観光農園では目玉品種として導入されています。



淡い色合いの「桃薫」の果実



収穫間近の「桃薫」

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ウリ科・イチゴユニット
(TEL 050-3533-4608) (FAX 059-268-1339)

●種苗の入手先について

アネット有限会社 (TEL 0994-44-4415) (FAX 0994-44-4835)
タキイ種苗株式会社 (TEL 075-365-0123) (FAX 075-365-0333)
株式会社 エム・アンド・ビー・フローラ
(TEL 0551-36-5677) (FAX 0551-36-5636)
株式会社 花の海 (TEL 0836-79-0092) (FAX 0836-79-0088)

「桃薫」の収量、果実特性および香り成分

品種名	総収量 (g/株)	商品果 平均果重 (g)	糖度 (Brix%)	主要な香りを表す成分		
				モモ様	コconaツツ様	カラメル様
桃薫	512	13.0	10.0	475	229	7.960
とよのか	376	13.1	10.5	294	107	5.627
カレンベリー	319	14.4	10.8	347	28	696

【おいCベリー】 7粒で1日分のビタミンCを摂取できる促成栽培向けイチゴ

果実は、ビタミンCが市販品種の中で最も多い「さちのか」の1.3倍、「とよのか」の約1.6倍含まれ、高い抗酸化活性を有しています。さらに、果実は「とよのか」より大きく、濃赤色で光沢があり、糖度が高く、食味も良好で、日持ち性も優れていることから、東南アジア等への輸出にも対応可能です。

早晩性は「とよのか」並で、促成栽培に適しています。普通促成栽培では年内収量および2月末までの早期収量は「とよのか」より少なめですが、4月末までの収量は「とよのか」より多く、商品果率が高い品種です。うどんこ病には中程度の抵抗性を持ちますが、萎黄病および炭疽病に対する抵抗性はありません。



収穫最盛期の「おいCベリー」



【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 園芸研究領域 イチゴ育種グループ
(TEL 0942-43-8362) (FAX 0942-43-7014)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部 産学連携室
(TEL 096-242-7536) (FAX 096-242-7769)

「おいCベリー」の品種特性(促成栽培)

高ビタミンCが魅力

品種	総収量 (kg/a)	商品果率 (%)	平均果重 (cm)	ビタミンC (mg/100gFW)	抗酸化活性 (μ mol-Trolox 当量/gFW)b	糖度 (Brix%)	果実硬度 (N)	食味
おいCベリー	590	67	15.2	87(6.5)a	19.7(138)	9.4	2.6	良
とよのか	474	57	13.3	54(12.3)a	14.3(100)	8.5	2.0	良
さちのか	580	64	12.2	68(10.4)a	15.7(110)	9.1	2.4	極良

a: 括弧内は成人男性1日あたりビタミンC摂取基準量100mg(厚生労働省日本人の食事摂取基準(2005年版)の摂取に必要な個数)
b: DPPHラジカル消去活性測定法で算出、「とよのか」を100とした場合

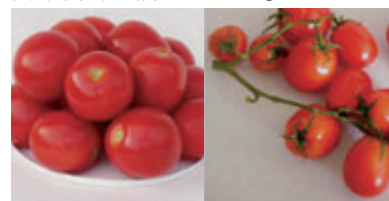
花・野菜

【すずこま】 初の低段密植養液栽培用、そのまま食べてはもったいないクッキングトマト

糖度が低いため生食してもおいしくありませんが、加熱調理すると食味や色合いが極めて優れる、クッキングトマト（加熱調理用トマト）品種です。苗を500～1000株/aの高密度で養液栽培し、短期間に収穫を終えて年3～4作程度植え替える「低段密植栽培」に適します。コンパクトな草姿の心止まり性であるため、腋芽かきや頂芽摘心が不要で、誘引作業も簡単です。花茎と果実が離れやすいため、省力的なヘタなし収穫が可能です。既存品種の「にたきこま」「なつのこま」と同じように土耕の露地または雨よけ栽培もできます。この場合、早生である特徴を活かした複数回の播種・定植によって、長期間出荷を続けることが可能です。



低段密植養液栽培中の「すずこま」



「すずこま」の収穫物
（左：ヘタなし収穫 右：房とり）

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 施設野菜・育種グループ
(TEL 019-641-9204)

●東北農業研究センター 企画部

(TEL 019-643-3437) (FAX 019-643-3405)

「すずこま」の低段密植養液栽培結果^a

品種・系統名	心止まり高(cm)	草丈(cm)	収穫 ^c 開始日	収穫 ^c 終了日	収穫期間(日)	収量(g/株)	収量比 ^b	1果重(g)	果数(個/株)	糖度(Brix%)
すずこま	60	94	102	138	36	1459	222	28	52	4.9
桃太郎ヨーク	—	69	96	131	35	600	100	135	4	5.4
にたきこま	114	192	104	137	33	1314	195	50	32	5.6

a: 全農営農・技術センター（平塚）にて低段密植養液栽培、1000株/a、「桃太郎ヨーク」は1段摘心
b: 基準品種「桃太郎ヨーク」の収量に対する% c: 播種からの日数

【アルシス】 病害抵抗性に優れたメロン

うどんこ病（レース1およびレースpXA）とつる割病（レース0およびレース2）に抵抗性があり、ワタアブラムシも増殖しにくいいため、病害虫の防除回数を減少でき、防除におけるコスト削減及び薬剤散布に要する労力の軽減が期待されるアルシス系品種です。

果皮はわずかに緑がかった灰色で、果実重は1800g程度、果実の外観は良好です。果肉は淡黄緑色で、果実の糖度および日持ち性は通常のアルシス系品種と同程度に高く、食味は良好です。半促成作型および普通作型ではネットの発現が不安定になりやすいことから、抑制作型に適しています。



「アルシス」の果実

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ウリ科・イチゴユニット
(TEL 050-3533-4610) (FAX 059-268-1339)

●種苗の入手先について

株式会社萩原農場
(TEL 0744-33-3233) (FAX 0744-33-4332)

「アルシス」の果実特性

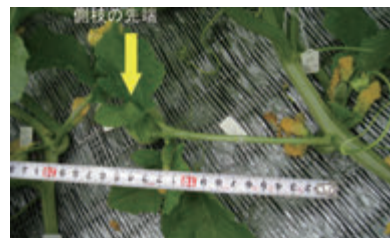
系統・品種名	果重(g)	果高/果径	日持ち性*	糖度(Brix%)
アルシス	1816	1.04	7日程度	15.0
雅春秋系	1797	1.02	6日程度	13.8
アルス輝	1676	0.92	3日程度	15.5

* 収穫してから、果実の内部品質が劣る（果肉の軟化、水浸状の症状が認められる等）までの日数

花・野菜

【フェーリア】 整枝作業時間を5割短縮できる 省力栽培が可能なメロン

多くの側枝が20cm未満で伸長を停止するため、短い側枝の除去作業が不要で、整枝・誘引作業に要する時間は慣行栽培に比べて5割程度短縮できます。単性花型（雌花と雄花を付けるタイプ）のメロンであるため、短い側枝を放任した場合でも、自然着果による余剰果の発生は少なく、摘果作業を軽減できます。果実はやや縦長で、果皮は灰緑色でネットが密に発生します。果肉は淡緑色で、食味に優れます。メロンの重要病害であるうどんこ病（レース1）、つる割病（レース0およびレース2）に対する抵抗性があります。高温・強光条件では側枝が伸長し、短側枝性が発揮されないことから、比較的低温・寡日照条件となる促成および半促成作型に適しています。



「フェーリア」の側枝



「フェーリア」の果実

「フェーリア」における省力性の評価および果実特性

品種名	省力性の評価				果実特性	
	整枝・誘引時間 (h/10a)	側枝長 (cm)	余剰果 (個/果)	花型	果実重 (g)	糖度 (Brix%)
フェーリア	27.1	19.2	0.4	単性花	1406	13.2
アンデス5号	52.3	49.9	1.3	両性花	1612	11.4

側枝長は第11～20節に発生した側枝の長さの平均値を示す。なお、最大側枝長を50cmとして測定した。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ウリ科・イチゴユニット
(TEL 050-3533-4610) (FAX 059-268-1339)

●種苗の入手先について

野菜花き研究部門 企画部企画連携室
(TEL 029-838-6574) (FAX 029-838-8528)
朝日工業株式会社 種苗部
(TEL 0274-52-2711) (FAX 0274-52-4761)

【ジェジェJ】 株元着果性を有し、2～3ヶ月の貯蔵後も品質が優れ、 端境期(12～4月)出荷が可能な多収カボチャ品種

本州、九州地域等の端境期出荷に向けた抑制栽培、北海道などの春播き露地栽培に適した品種です。株元着果性が強く、密植栽培（畝幅150～200cm、株間50～60cm、または畝幅300cm株間50cm2条植え）に適します。貯蔵3ヶ月後における果皮色は「えびす」よりも緑色が濃く、果肉色は赤味が強まり橙黄～橙になります。

肉質は粉質性が強く、乾物率およびBrixは標準品種「えびす」より高く、既存の高貯蔵性品種「雪化粧」と同等です。着果後は葉の枯れ上がりによる日焼けおよび貯蔵中の腐敗果の発生にはご注意ください。



「ジェジェJ」果実の外観

「ジェジェJ」の草姿特性

品種名	草姿 ^d	つる長(cm) ^e		側枝数 (30cm以上)	開花日 ^f		株元着果 率 ^g (%)
		10節まで	全長		雄花	雌花	
ジェジェJ ^a	短節間性	9.8	63.1	0.9	7.03	7.08	80.0
えびす ^b	つる性	42.6	154.6	4.9	7.03	7.05	0.0
雪化粧 ^c	つる性	45.2	108.4	9.1	7.07	7.14	0.0

試験地：札幌市。2011年および2012年の平均値。2011年5月6日播種および2012年5月7日播種。
^a 畝幅150cm、株間60cm、^b 畝幅300cm、株間60cm。^c 一般的な特性を比較するための品種、^d 貯蔵性を比較するための品種。^e 播種後60日。^f 調査日：2011年7月7日および2012年7月3日。^g 第1雄花・雌花の開花日。^h 株元から40cm以内に着果した果実。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 作物開発研究領域 園芸作物育種グループ
(TEL 011-851-9306)

●種苗の入手先について

(株)渡辺採種場(TEL 0229-32-2221)

「ジェジェJ」の収量と貯蔵後の果実品質

品種名	1果重 (kg)	総収量 (kg/10a)	規格内 収量 (kg/10a)	貯蔵3ヶ月後の果実 ^a					
				果皮色	果肉色		肉質 (粉質～粘質)	乾物率 (%)	Brix (%)
					観察	a*値 ^b			
ジェジェJ	2.0	2307	2259	緑	橙黄～橙	29.8	粉質～中	23.2	16.4
えびす	1.9	1846	1836	淡緑	濃黄	25.3	粘質	15.6	12.9
雪化粧	2.2	1473	1473	灰白	橙黄	27.5	粉質～中	22.3	14.8

^a キュアリング後10℃で貯蔵。^b 色彩色差計による測定値、数値が大きいほど赤味が強い。

花・野菜

【ストライプペポ】

寒地・寒冷地で密植栽培可能な、
種子を食べるように育成したカボチャ

株元着果性が高いので、果実を見つけやすい品種です。収穫は開花後45日～50日を目途とします。うどんこ病およびアブラムシへの抵抗性は中程度ですが、食用種子カボチャ用農薬としての登録は少ないため、栽培管理には注意を要します。

大粒で濃い緑色の種子が着き、種子はトッピングだけではなく、食用油の原料にもなります。



種子の外観
左：普通の種子から殻を剥いたもの
右：「ストライプペポ」



「ストライプペポ」果実の外観

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

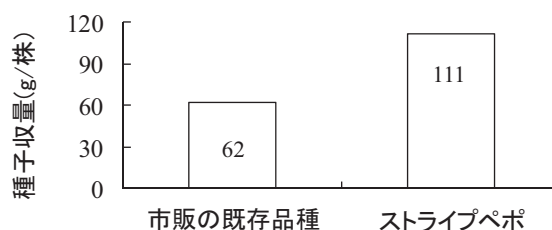
北海道農業研究センター 作物開発研究領域 園芸作物育種グループ
(TEL 011-851-9306)

●種苗の入手先について

(株) 渡辺採種場 (TEL 0229-32-2221)

●生産物の入手先について

(株) 和寒シーズ (TEL 0165-32-2002) (FAX 0165-26-7073)
三晃化学株式会社 (TEL 011-221-5221)



種子食用ペポカボチャの株あたりの種子量

【クエルゴールド】

ケルセチンを多く含む
タマネギ品種

F1品種「クエルゴールド」は国内で栽培されるタマネギではケルセチンを最も多く含有します。ケルセチンは顕著な抗酸化能を示し、摂取による血圧降下作用が報告されています。

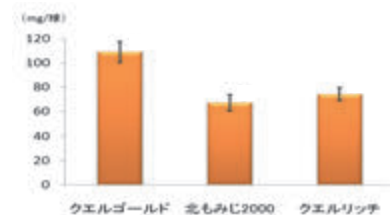
ケルセチン含有量が高いため、既存のタマネギ品種よりも効率的にケルセチンが摂取可能となることから、新たな付加価値を持った農産物として需要の拡大が期待されます。また、乾物率が高く、加熱加工に向いているので、加工食品原料としての利用も期待されます。

「クエルゴールド」は寒地・寒冷地における春播き栽培に適した品種です。

北海道内の民間企業（植物育種研究所）により平成28年からの種子販売が開始されました。他の民間企業等への種子生産の許諾も可能です。



「クエルゴールド」の球外観（2011年10月）



「クエルゴールド」のケルセチン含量

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 作物開発研究領域 園芸作物育種グループ
(TEL 011-851-9306)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 011-857-9257)
(FAX 011-859-2178)

「クエルゴールド」の特性

品種名	倒伏期(日)	生育指数	平均1球重(g)	総収量(kg/a)	球形	外皮色	乾物率(%)	貯蔵性
クエルゴールド	160	598	159	454	やや扁平	褐	12.6	中
北もみじ2000	160	655	195	594	円	褐	10.7	良
クエルリッチ	157	672	170	503	広楕円	赤	12.3	中

花・野菜

【あのみり2号】

授粉やホルモン処理なしでも
きれいな実のつくナス

花粉を雌しべに授粉しなくても植物ホルモン剤処理をしなくても果実が肥大する単為結果性を持っています。着果促進処理が不要なことと側枝の発生がゆるやかなことから、栽培の省力化が可能です。果実は長卵形で、果皮の光沢に優れ、外観は良好です。果肉は白く、肉質は緻密で、食味も良好です。先行して発表した「あのみり」よりも収量性が優れ、環境条件による果形の変化が少ないです。栽培上の基本的な特性は「あのみり」と同様ですが、省力性は「あのみり」が上回ります。現在、全国の種々の作型に普及中です。



「あのみり2号」の外観



白くてきれいな果実断面

「あのみり2号」の特徴

作型	品種名	単為結果率 (%)	商品果数 (本/株)	果形
促成	あのみり2号	96	138	長卵
	あのみり	83	122	中長
	千両二号	4	143	長卵
露地普通	あのみり2号	—	55	長卵
	あのみり	—	49	長卵
	千両二号	—	63	長卵

3～4カ年の平均値。単為結果率は独立した試験結果で11月を中心とする約1ヶ月間に開花した花の正常肥大率(3品種とも着果促進処理なし)。促成作型の収穫期間はおよそ10～6月、露地普通作型の収穫期間はおよそ6～9月(促成作型の「千両二号」のみ着果促進剤処理)。

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ナス科ユニット
(TEL 050-3533-4612)

●種苗の入手先について

野菜花き研究部門 企画部企画連携室
(TEL 029-838-6574) (FAX 029-838-8528)

【ゆめわらべ】

コンパクトサイズの
良食味ネギ

従来のネギより葉鞘が短く太りが旺盛で、長さ40cm程度に調製できるので、買い物袋にすっぽり収まるコンパクトサイズの商品として利用可能です。また、辛味が少なく、葉が軟らかいため緑の葉身部まで無駄なく食べられる優れた食味特性を有します。

短い葉鞘で収穫することにより、土寄せ回数が少なく短期間で省力的な栽培が可能です。栽培は全国どこでも可能で、秋冬季の生産だけでなく、抽だいの起こりやすい初夏どり(5～6月)栽培でも抽だい株の発生が少なく、夏どり(7～8月)でも高収量が得られます。また、辛味程度は収穫時期が変わっても安定して低く、長期間の出荷が可能です。



6月上旬における「ゆめわらべ」
(写真：下)の抽だい程度



「ゆめわらべ」の
収穫物

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ネギ属ユニット
(TEL 050-3533-4607)

●種苗の入手先について

野菜花き研究部門 企画部企画連携室
(TEL 029-838-6574) (FAX 029-838-8528)

「ゆめわらべ」の春まき秋どり栽培における^a特性

品種	草丈 (cm)	葉鞘長 (cm)	葉鞘径 (mm)	一本重 (g)	ピルビン酸生成量 (μmol/ml)
ゆめわらべ	75.6	25.3	17.6	134	12.3
ふゆわらべ ^b	70.9	23.1	16.4	106	13.4
吉蔵 ^c	89.1	28.1	15.9	119	17.6

a: 5月播種、11月収穫 b: 冬どり用短葉性ネギ品種 c: 一般的なネギ品種 d: 辛味程度の指標。数値が低いほど辛味が少ない。

花・野菜

【あきめき】根こぶ病と黄化病に抵抗性のハクサイ

Crr1 と *Crr2* および「秋理想」の親（花粉親）に由来する別の根こぶ病抵抗性遺伝子の計 3 種類の抵抗性遺伝子を有します。ハクサイ F₁ 品種「CR 隆徳（りゅうとく）」と「SCR ひろ黄（ひろき）」が示す抵抗性の違いによりグループ化された 4 種類の根こぶ病菌系の全てに抵抗性を示す初めてのハクサイ品種です。

また、黄化病汚染圃場で栽培した場合にも発病しにくい品種です。播種後約 75 日で収穫可能で、出荷時の球長は約 30cm、重さは 2.5 ～ 3kg 程度であり、根こぶ病抵抗性以外の特性は「秋理想」に類似します。



「あきめき」の収穫物外観と結球断面

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 アブラナ科ユニット
(TEL 050-3533-4604) (FAX 059-268-1339)

●種苗の入手先について

野菜花き研究部門 企画部企画連携室
(TEL 029-838-6574) (FAX 029-838-8528)

4グループの根こぶ病菌に対する「あきめき」の抵抗

品種名	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
あきめき	R	R	R	R
はくさい中間母本農9号*	R	R	PRまたはS	R
CR隆徳	S	S	R	R
SCRひろ黄	S	R	S	R
無双	S	S	S	S

Hatakeyama ら (2004) のグループ分けに従った

R: 抵抗性 PR: 一部抵抗性 S: 罹病性

* 「はくさい中間母本農9号」はグループ3に属する菌によって弱い抵抗性から罹病性を示す

【L4台パワー・台ちから】ピーマン・トウガラシ類に利用できる病気に強い台木用品種シリーズ

既存の「台パワー」と併せてピーマン・トウガラシ類の青枯病・疫病に強度抵抗性を示す台木用品種シリーズです。各品種のモザイク病 (TMV、ToMV、PMMoV 等) に対する抵抗性のタイプが異なるので、いろいろなタイプのピーマン・トウガラシ類の台木として利用できます。「L4 台パワー」はモザイク病抵抗性の遺伝子型として L^4 を持つパプリカ品種、「台パワー」は同じく L^3 を持つパプリカおよびピーマン品種、および「台ちから」はモザイク病に対する抵抗性を持たない甘長トウガラシおよびトウガラシ品種の台木として利用できます。台木として利用した場合の収量性は、既存の台木用品種と同等です。



「L4 台パワー」の草姿

「台ちから」の草姿

接ぎ木栽培での収量(穂木:「京鈴」)

台木用品種名	収量(kg/a)
L4台パワー	601
台ちから	605
台パワー	577
スケッチC	576
京鈴(自根)	544

平成23～25年度の実施した夏秋露地栽培での平均

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ナス科ユニット
(TEL 050-3533-4612) (FAX 059-268-1339)

●種苗の入手先について

野菜花き研究部門 企画部企画連携室
(TEL 029-838-6574) (FAX 029-838-8528)

「L4台パワー」および「台ちから」の病害抵抗性

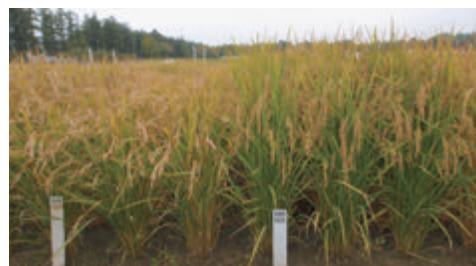
品種・系統名	発病株率(%)		PMMoV抵抗性遺伝子
	疫病	青枯病	
L4台パワー	8	6	L^4
台ちから	2	2	なし
台パワー	3	5	L^3
ベルマサリ	39	73	L^3
エース	100	100	L^1

飼料作物

【たちじょうぶ】 北海道に適した多収で倒れにくい飼料イネ品種

北海道での栽培に適する極多収品種です。地上部全重収量、粗玄米収量のいずれも、「きらら397」より20%以上多収なので、ホールクロップサイレージ用と飼料米用の両方に利用できます。倒れにくく、いもち病に強いので極多肥栽培にも適します。

「きらら397」と比較して、出穂期は7日遅く、成熟期は約20日遅い晩生種です。成熟期が遅いため、飼料用米としての直播栽培には適しません。



「たちじょうぶ」の草姿
(左：きらら397、右：たちじょうぶ)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
北海道農業研究センター 作物開発研究領域 水稻育種グループ
(TEL 011-857-9311) (FAX 011-859-2178)
- 種苗の入手先について
北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

「たちじょうぶ」の特性

品種名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	黄熟期 乾物重 (kg/a)	TDN 収量 (kg/a)	標準 比率 (%)	粗玄米 収量 (kg/a)	標準 比率 (%)
たちじょうぶ	8.09	10.10	77	153	90.7	124	75.7	135
きらら397	8.02	9.21	67	123	73.2	(100)	56.0	(100)

注) 育成地における2007～2009年の成績の平均。窒素施肥量10kg/10a。

【たちはやて】 麦あと栽培に適したホールクロップサイレージ用イネ品種

茎葉の繁茂が良く、高い地上部収量とTDN収量を示し、稲発酵粗飼料に適します。稈質が強く倒れにくく、縞葉枯病にも抵抗性があるため、安定した栽培が期待できます。

関東では早生熟期で、「コシヒカリ」よりも約2週間早く稲発酵粗飼料として収穫できるため、収穫作業の労力分散が可能です。

栽培適地関東以西です。白葉枯病に弱いため、常発地での栽培は避ける必要があります。また、登熟が早く進み、収穫適期である黄熟期の期間が他の飼料用品種よりも短いため、計画的に収穫を進める必要があります。



「たちはやて」の草姿

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
次世代作物開発研究センター 稲研究領域 稲育種ユニット
(TEL 029-838-8950)
- 種苗の入手先について
次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「たちはやて」の主要特性

品種	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 cm	地上部収量 kg/a	同左 比率%	玄米収量 kg/a	同左 比率%
たちはやて	8.04	9.05	117	173	105	51.9	71
夢あおば	7.29	9.09	89	165	100	73.0	100

育成地のデータ：平成20～22年、窒素成分：基肥緩効性1.6kg/a+追肥0.0kg/a

飼料作物

【オオナリ】 関東以西向きの 超多収飼料用米品種

インド型品種「タカナリ」の脱粒性を改善した多収品種です。脱粒による収穫期の損失が少なく、粗玄米収量が早植・多肥区で940 kg/10aと極めて高い収量性を示します。玄米の外観品質は劣り、粒形はやや細長いため、食用品種と識別が可能です。

栽培適地は関東以西です。耐冷性が弱いため、冷害の恐れのある地域で野栽培には適しません。また、種子の休眠性が強いいため苗立ちが悪い場合があります。4-HPPD 阻害型除草剤に感受性があるため、ベンゾビシクロンなどの成分を含む剤は使用できません。



「オオナリ」の圃場での草姿

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 稲研究領域 稲育種ユニット
(TEL 029-838-8950)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

「オオナリ」の主要特性

品種	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	玄米収量 kg/a	同左 比率%
オオナリ	8.06	9.22	83	26.2	336	94.0	107
タカナリ	8.05	9.22	82	25.7	322	87.7	100
日本晴	8.11	9.27	96	20.3	502	62.1	71

(育成地のデータ：平成23～26年、窒素成分：1.6kg/a)

【たちすがた】 乾物収量2t/10aを実現した ホールクロップサイレージ 用イネ品種

中生熟期で乾物収量2t/10aを実現した飼料用品種です。出穂期は「日本晴」より5日早く、「タカナリ」より2日遅く、関東平坦部では“中生の中”熟期に属します。

可消化養分総量(TDN)収量も、「タカナリ」より26%、「日本晴」より19%多収で、ホールクロップサイレージ(WCS)に適します。また、耐倒伏性に優れ、直播栽培にも適します。関東以西での栽培に適しています。



「たちすがた」の草姿

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

次世代作物開発研究センター 稲研究領域 稲育種ユニット
(TEL 029-838-8950)

●種苗の入手先について

次世代作物開発研究センター 企画管理部企画連携室
(TEL 029-838-8260) (FAX 029-838-7488)

黄熟期の乾物全重

黄熟期乾物全重(t/10a)		
たちすがた	タカナリ	日本晴
2.02	1.62	1.75

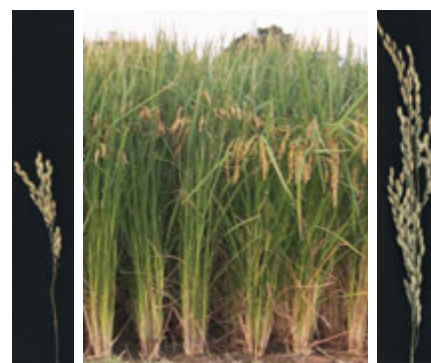
TDN 収量

TDN収量(t/10a)		
たちすがた	タカナリ	日本晴
1.20	0.95	1.01

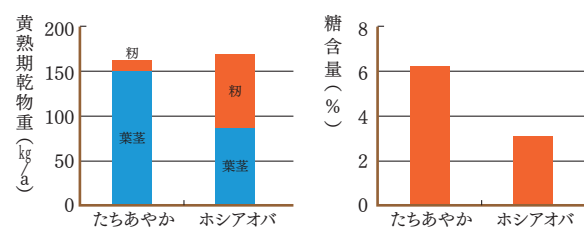
飼料作物

【たちあやか】 茎葉が多収で高糖分の ホールクロップサイレージ用イネ品種

牛にとって消化の悪い籾が従来品種「ホシアオバ」より明らかに少なく、その分消化の良い茎葉の割合が高いため、可消化養分総量（TDN）が高く、ホールクロップサイレージ（WCS）に適しています。また、発酵の際に乳酸菌のエネルギー源となる糖の含量が飛躍的に高いという特長があります。さらに、耐倒伏性に優れ、長期間の収穫作業が可能です。普通期移植（6月上旬）を行うと瀬戸内沿岸地域では「中生の早」で、関東以西の地域で栽培が可能です。WCSとして同様の特性をもつ、晩生の「たちすずか」と併用することで作期分散が可能です。縞葉枯病やいもち病に対しては、「たちすずか」と同様の注意が必要です。



草姿と穂 左：「たちあやか」、右「ホシアオバ」



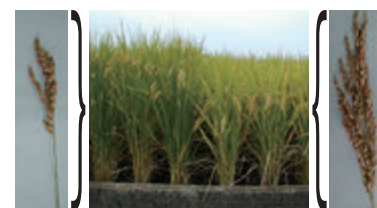
「たちあやか」の黄熟期乾物重と糖含量

【問い合わせ先】

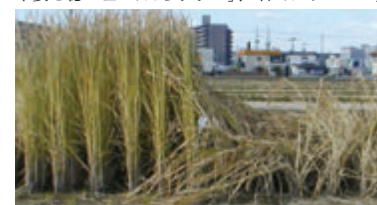
- 品種の特徴について
西日本農業研究センター 水田作研究領域 水稻育種研究グループ
(TEL 084-923-5346) (FAX 084-924-7893)
- 種苗の入手先について
西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

【たちすずか】 茎葉が多収でTDN含量が 高く、高糖分のホールクロッ プサイレージ用飼料イネ

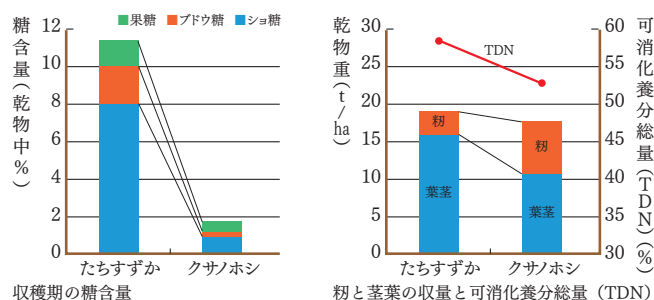
牛にとって消化の悪い籾が従来品種「クサノホシ」の3分の1程度と少なく、その分消化の良い茎葉の割合が高いため、可消化養分総量（TDN）が高く、乳牛では乳量を向上させる効果がみられます。また、発酵の際に乳酸菌のエネルギー源となる糖の含量が飛躍的に高いという特長があります。さらに、耐倒伏性に優れ、長期間の収穫作業が可能です。瀬戸内沿岸地域では「極晩生」で、関東以西の地域で栽培が可能です。縞葉枯病に抵抗性を持たないため、常発地帯では作付けできません。また、いもち病に対しては菌の変異に注意が必要です。



草姿と穂 左：「たちすずか」、右「クサノホシ」



耐倒伏性の違い
左：「たちすずか」、右「クサノホシ」



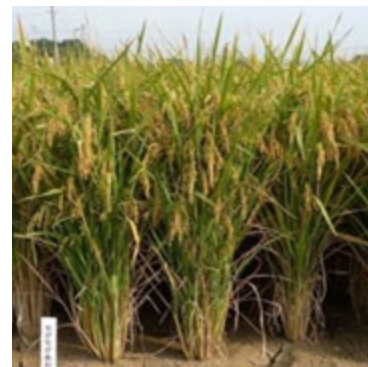
【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
西日本農業研究センター 水田作研究領域 水稻育種研究グループ
(TEL 084-923-5346) (FAX 084-924-7893)
- 種苗の入手先について
西日本農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 084-923-4107) (FAX 084-924-7893)

飼料作物

【モグモグあおば】 倒れにくい暖地向きのホールクロップサイレージ・飼料米兼用品種

暖地では中晩生の飼料用専用種です。極長程ですが稈が強く倒伏しにくい特徴があります。ホールクロップサイレージ用としても多収で、子実も一般食用品種より20～30%多収で飼料米用にも活用できます。栽培適地は、ホールクロップサイレージ用としては温暖地、暖地の平坦部、飼料用としては暖地の平坦部です。



「モグモグあおば」の草姿

「モグモグあおば」の品種特性（育成地）

品種名	出穂期 (月・日)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 (0無-5甚)	乾物全重 (kg/a)	比較比率 (%)	粗玄米重 (kg/a)	比較比率 (%)
ホールクロップ用 黄熟期刈り(早植) モグモグあおば	8.17	104	248	1.2	192	117	—	—
ニシアオバ	8.17	101	310	2.3	164	100	—	—
ホールクロップ用 黄熟期刈り(普通植) モグモグあおば	9.05	101	274	—	—	—	72.4	133
ニシホマレ	9.06	96	333	—	—	—	54.2	100

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 稲育種グループ
(TEL 0942-52-0647)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

【たちぴりか】 耐倒伏性とすす紋病抵抗性に優れる寒地向き極早生トウモロコシ

サイレージ用トウモロコシの寒地の栽培限界地帯である北海道の根釧および道北地域に適する品種です。草丈は低いですが雌穂の大きいのが特徴で、乾物中の雌穂の割合が多く栄養価の高いサイレージ原料を生産することができます。耐冷性に優れており、良好な初期生育を示すとともに低温による雄穂の発育障害を生じにくいです。また、近年その被害が拡大しているすす紋病に対して極強レベルの抵抗性をもち、耐倒伏性も強いことから、栽培限界地帯での安定栽培が可能です。



「たちぴりか」のすす紋病抵抗性
左：市販外国品種、右「たちぴりか」

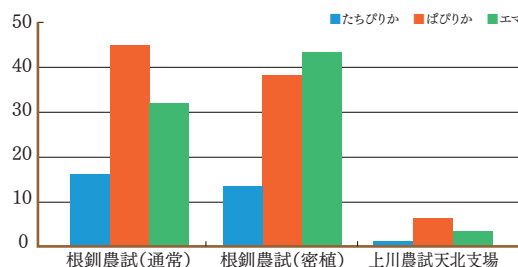
【問い合わせ先】

●品種の特徴について

北海道農業研究センター 作物開発研究領域 飼料作物育種グループ
(TEL 011-857-9317)

●種苗の入手先について

北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)



「たちぴりか」の耐倒伏性 いずれの場所、栽培密度でも倒伏が少ない

飼料作物

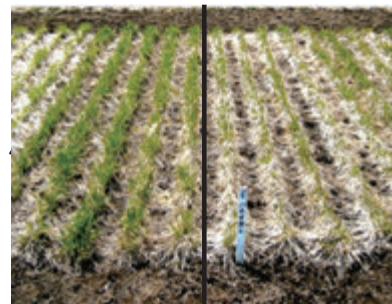
【まきばさかえ】

越冬性と収量性に優れる 寒地向き放牧用メドウフェスク

雪腐病抵抗性の強化により、越冬性が「ハルサカエ」より安定して優れます。集約放牧を想定した短草管理での収量が多く、特に春季と秋季に優れます。また放牧条件での被度や放牧前草量も優れます。

厳寒な北海道東部の土壤凍結地帯において、自給飼料の利用率を高め、酪農経営の低コスト化を目指す集約放牧に適した品種です。

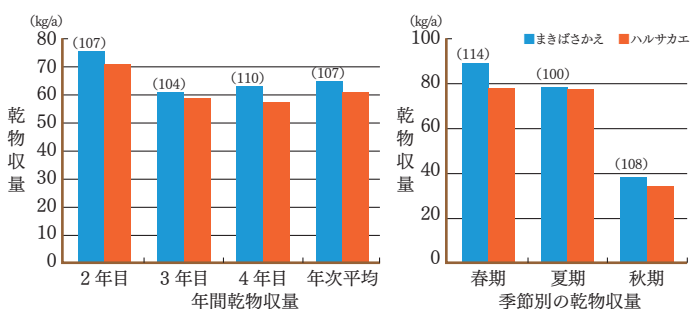
北海道との共同育成品種で、種子は種苗会社から販売されています。



「まきばさかえ」 「ハルサカエ」

越冬後の再生状況

北海道立総合研究機構根柢農業試験場
(2006年5月9日)



土壤凍結地帯における短草管理での乾物収量
(年間合計収量の北海道東部4場所平均、括弧内数値はハルサカエ比)

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
北海道農業研究センター 作物開発研究領域 飼料作物
育種グループ
(TEL/FAX 011-857-9273)
- 種苗の入手先について
北海道農業研究センター 企画部
(TEL 011-857-9410) (FAX 011-859-2178)

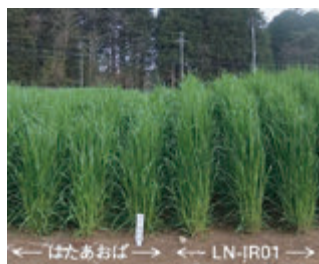
【LN-IR01・SI-14・JFIR-20】

硝酸態窒素濃度が低い イタリアンライグラス

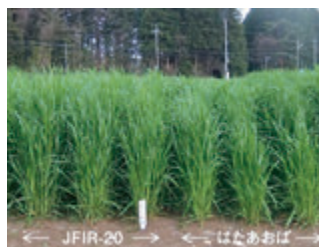
これら3品種は、牛の硝酸塩中毒の原因となる硝酸態窒素の濃度が市販品種中で最も低い「優春」よりさらに2割以上低いことが特徴です。二倍体の早生品種であり、東南北部から九州地域までの積雪量の少ない地域に適しています。ただし、多量の堆肥を施用した場合は、これらの品種を利用しても硝酸態窒素濃度が急性硝酸塩中毒のガイドライン値（乾物あたり0.2%）を上回ることがあるため、堆肥や窒素肥料の適切な施用に留意する必要があります。「LN-IR01（ゼロワン）」はカネコ種苗、「SI-14（タチュウカ）」は雪印種苗、「JFIR-20（うし想い）」はタキイ種苗と日本草地畜産種子協会との共同育成品種です。

【問い合わせ先】

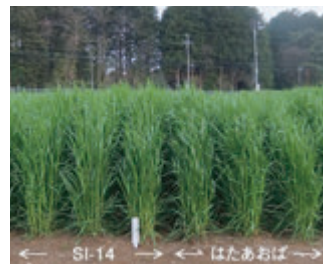
- 品種の特徴について
畜産研究部門 問い合わせ専用フォーム
<https://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/inquiry/index.html>
- 種苗の問合せ先について
カネコ種苗株式会社 (TEL 027-253-0561) (FAX 027-290-1045)
雪印種苗株式会社 (TEL 043-259-7488) (FAX 043-298-9166)
タキイ種苗株式会社 (TEL 075-365-0123) (FAX 075-365-0160)



LN-IR01（ゼロワン）の草姿
(左：はたあおば、右：LN-IR01)



JFIR-20（うし想い）の草姿
(左：JFIR-20、右：はたあおば)



SI-14（タチュウカ）の草姿
(左：SI-14、右：はたあおば)

飼料作物

【まきばたろう】多収で、耐病性と永続性に優れる オーチャードグラス

中生のオーチャードグラス品種で、採草及び放牧に利用可能です。普及対象地域は、東北北部（標高 400m 以下）から九州高標高地（標高 700m 以上）まで広域に及び、全国平均で標準品種「マキバミドリ」より8%多収です。主要病害であるさび病、うどんこ病、雲形病に何れも抵抗性が極めて高く、病気による品質の低下を避けることができます。永続性も良好で、長期間の利用が期待できます。除染のための草地更新が求められる東北地方及び北関東地方において最も能力を発揮する品種です。



「まきばたろう」の草姿
(2006年5月撮影、栃木県)

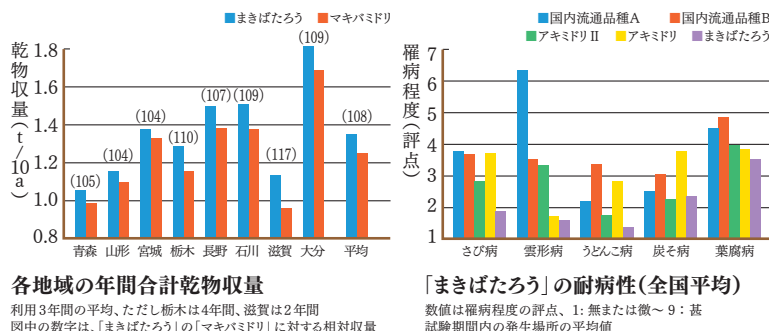
【問い合わせ先】

●品種の特徴について

畜産研究部門 問い合わせ専用フォーム
<https://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/inquiry/index.html>

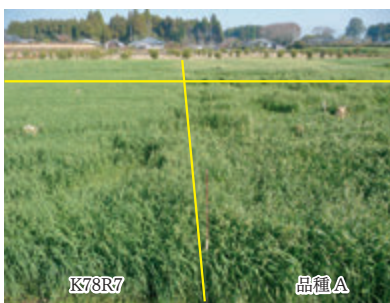
●種苗の問合せ先について

各種苗会社または、一般社団法人日本草地畜産種子協会
<http://souchi.lin.gr.jp/toiawase.html>



【K78R7】耐倒伏性と多収性を両立させた 夏播き用エンバク極早生品種

既存の多収品種と同程度以上の収量性と極強の耐倒伏性を兼ね備え、各種の病害にも強い極早生品種です。これまでに九州、関東地域を中心に、22カ所の農家圃場での試験栽培を実施しましたが、特に問題は指摘されませんでした。収量調査を実施した鹿児島県や群馬県では、育成機関による試験結果と同様に多収性と耐倒伏性で良好な成績が得られています。平成26年から種子の流通が始まり、カネコ種苗株式会社から「アーリーキング」の商品名で販売されています。本品種は関東から九州を中心に、既存の極早生品種を栽培できる地域で利用できます。



鹿児島曾於市の農家圃場における耐倒伏性の品種間差 (2013年)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ
(TEL 096-242-7754) (FAX 096-249-1002)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

エンバク「K78R7」の夏播き栽培(9月上旬播種)における生育特性

	K78R7	品種A (標準)	九州16号 (比較)	品種B (参考)	備考
出穂まで日数	55	53	49	43	3場所・6試験の平均値
倒伏程度 ¹⁾	2.5	5.0	2.7	3.3	3場所・5試験の平均値
草丈(cm)	125	124	110	117	3場所・6試験の平均値
乾物収量(kg/a)	76.1	71.6	70.7	72.9	3場所・6試験の平均値
乾物率(%)	16.7	14.9	16.3	16.5	3場所・6試験の平均値
穂重割合(%)	9.2	7.7	8.6	9.7	3場所・5試験の平均値
推定TDN含量 ²⁾ (%)	56.0	58.3	56.3	56.6	九州農研2012年のサンプル

注) 育成機関の3試験地(鹿児島、熊本、群馬)での試験成績。品種A、Bは、他機関育成の普及品種。

1) 1: 無〜9: 甚。

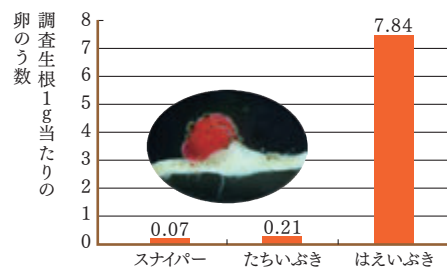
2) 家畜が消化吸収する飼料中の養分含量で、出口ら(1997)の推定式(TDN=-5.45+0.89*(OCOC+Oa)+0.45*OCW)で算出。

飼料作物

【スナイパー】

夏播き栽培でサツマイモネコブセンチュウの増殖を抑制する耐倒伏性エンバク

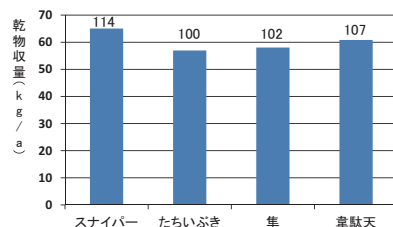
「スナイパー」は、九州の夏播き栽培（9月中の播種）でサツマイモネコブセンチュウの増殖を抑制することから、線虫対策と自給飼料生産に同時に対応できる飼料作物品種であり、耕畜連携の有効な技術の一つとして期待されます。線虫増殖抑制効果は「たちいぶき」と同程度です。「たちいぶき」より出穂が早く、九州地域では9月中旬に播種すれば年内に出穂します。乾物収量は九州の9月下旬播種では「たちいぶき」比114%の多収です。倒伏程度は既存品種より低く、耐倒伏性に優れます。



エンバク夏播き栽培終了時におけるネコブセンチュウの卵のう形成数
グラフ内の写真は、ネコブセンチュウの卵のう。数値は各種の値。



倒伏に強い「スナイパー」
左：「スナイパー」、右：隼
(2011年9月6日播種、11月21日撮影、熊本県合志市)



9月下旬播種における乾物収量
注) 熊本県合志市、宮崎県三股町の試験地において、2009～2014年で9/23から9/28に播種した8試験の平均値。グラフ内の数値は「たちいぶき」比。

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ
(TEL 096-242-7754) (FAX 096-249-1002)
- 種苗の入手先について
九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

【九州14号】

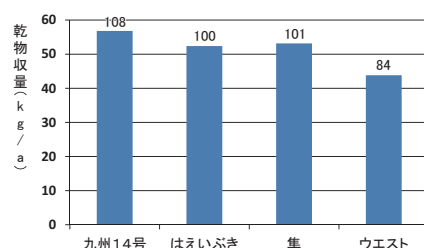
9月下旬播種でも年内に出穂する極早生で多収のエンバク

「九州14号」はエンバクの夏播き栽培（9月播種・年内収穫）に適した極早生品種で年内の出穂性が安定しており、9月下旬の播種でその能力を発揮します。9月下旬の播種における乾物収量は「はえいぶき」比108%と多収で、飼料品質は既存品種と同程度です。秋播き栽培（11月播種・翌春収穫）でも出穂が早く多収です。耐倒伏性に優れ、重要病害である冠さび病に対する抵抗性は「極強」です。

従来夏播き用品種より遅播きができることから、イタリアンライグラスと混播し、エンバクで年内の収量を確保する栽培にも適しています。



出穂程度の比較
(2005年9月20日播種、12月16日撮影、熊本県合志市)
左：「隼」、右：「九州14号」



9月下旬播種における乾物収量（熊本県合志市）
注) 2011～2014年で9/24から9/26に播種した4回の平均値。「ウエスト」は2012年が未供試で3回の平均値。グラフ内の数値は「はえいぶき」比。

【問い合わせ先】

- 品種の特徴について
九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ
(TEL 096-242-7754) (FAX 096-249-1002)
- 種苗の入手先について
九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

飼料作物

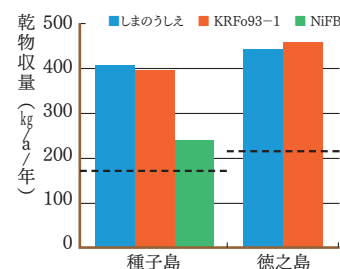
【しまのうしえ】島の牛のエサ不足解消に新たな味方！

飼料用サトウキビは、サトウキビの生産力を改善し多回収穫を可能とした作物です。「しまのうしえ」は黒穂病に強い抵抗性を示し、黒穂病の発生懸念から飼料用サトウキビの普及が遅れていた奄美以南での栽培・利用を想定しています。ローズグラスの約2倍の乾物収量が得られ、トウモロコシやソルガムなどの他の長大型飼料作物に比べ台風や干ばつなどの気象災害に強く、安定的に栽培できます。

年2回の収穫が可能で、刈り取りの遅れによる栄養性の低下や嗜好性の低下がなく、柔軟な収穫設定が可能となります。繁殖雌牛の粗飼料としての利用に適していますが、肥育素牛や乳牛への給与も可能です。なお、種子島以北での利用には既存品種「KRf93-1」を奨めます。



左：「しまのうしえ」、右：KRf93-1（種子島）



「しまのうしえ」の乾物収量

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 作物開発利用研究領域 さとうきび育種グループ
(TEL 0997-25-0100) (FAX 0997-25-0888)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

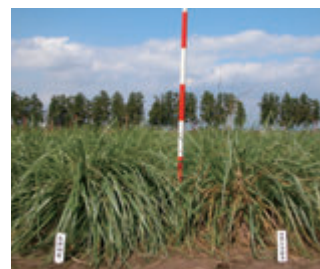
「しまのうしえ」の主な特性

品種名	発芽性	萌芽性	分けつ性	黒穂病抵抗性	さび病類抵抗性	IVDMD (%)
しまのうしえ	良	極良	強	強	強	45.0
KRf93-1	極良	極良	やや強	中	やや強	44.9
NiFB	良	良	中	強	強	48.8

IVDMD（インビトロ乾物分解率）は試験期間中の平均値を示す。

【ウシブエ】越夏性・永続性に優れたトールフェスク中生品種

「ウシブエ」は、寒地型牧草の中でも最も環境適応性が高く、九州等暖地で基幹草種として利用されているトールフェスクの中でも、特に越夏性、永続性に優れた中生の多収品種です。このため、既存品種の利用で、夏枯れや永続性に悩んでいる地域でも利用できます。また、生育環境がより厳しい低標高地での利用も期待され、長崎県では、バヒアグラス草地とトールフェスク「ウシブエ」草地を組み合わせた放牧の先駆的事例が報告されています。現在、山梨、岡山、長崎、熊本、宮崎県で奨励品種に指定されています。



越夏後の草姿
左：ウシブエ、右：サザンクロス
(2004年10月13日、熊本県合志市)



越夏後の欠株状況 左：ウシブエ、右：サザンクロス
(2006年9月12日、熊本県合志市)

【問い合わせ先】

●品種の特徴について

九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ
(TEL 096-242-7754) (FAX 096-249-1002)

●種苗の入手先について

九州沖縄農業研究センター 企画部産学連携室
(TEL 096-242-7513) (FAX 096-249-1002)

「ウシブエ」の特徴

品種名	出穂始日	年間乾物収量 (kg/a)	越夏後の再生程度 (1: 極不良-9: 極良)	利用3年目の最終蓄草乾物収量 (kg/a)	利用3年目の秋の被度 (%)
ウシブエ	4.24	168.9	5.9	22.9	83
サザンクロス	4.26	161.3	5.8	21.7	76

系統適応性検定試験（9場所、3年間）の試験結果。



【表紙の言葉】

丸木船のような器に米や豆などが載っています。農研機構が開発した品種のほんの一部です。その舟はノアの方舟か、過去から未来へのシャトルのようにも見えます。私たち農研機構は、健康で豊かな未来へ繋ぐ、農業・農産物を作りたいと研究・開発を進めています。

●撮影に使用した品種

米＝萌えみのり玄米・十穀米

大豆＝なごみまる・キヨミドリ

ナス＝あのみり

ジャガイモ＝インカのひとみ・ノーザンビー・シャドークイーン・はるか

サツマイモ＝ムラサキマサリ・ひめあやか・ヒタチレッド・ペにまさり

イチゴ＝おおきみ

レモン＝璃の香

本冊子の記載内容について無断転載を禁じます。

農研機構の技術を活用して新たなビジネス創出に取り組みませんか

●農研機構では、研究成果の実用化・普及に向けて民間企業等との連携に取り組んでいます。

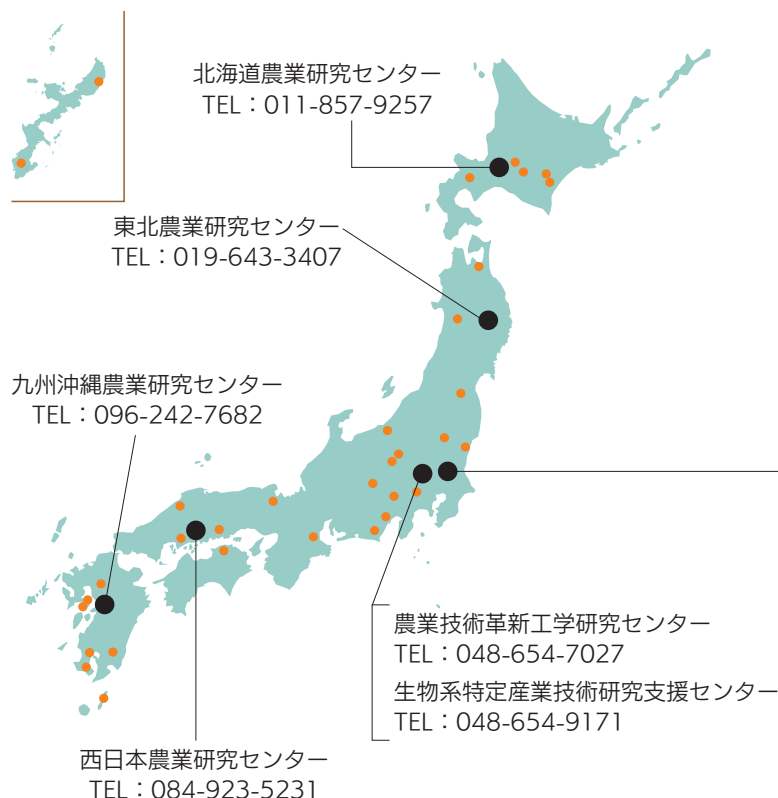
- ・共同研究や委託研究、依頼研究員の受け入れ、研究試料等の提供など、様々な連携制度を設けています。
- ・特許等の知的財産権について、様々な契約により技術移転を進めています。

<http://www.naro.affrc.go.jp/collab/>

ご相談は食農ビジネス推進センターまたは全国の研究所へ

●食農ビジネス推進センターは、みなさまと農研機構をつなぐ最初の窓口として活動しています。

- ・各研究部門・研究センターにも「産学官連携窓口」を設け、みなさまのご相談に応じています。
- ・共同研究や技術移転のご相談、研究成果の照会など、お気軽にお問い合わせ下さい。
- ・どこに問い合わせればよいかわからないときは、まずは食農ビジネス推進センターにご相談下さい。



本部	TEL : 029-838-8629
食農ビジネス推進センター	TEL : 029-838-7698
中央農業研究センター	TEL : 029-838-8509
果樹茶業研究部門	TEL : 029-838-6451
野菜花き研究部門	TEL : 029-838-6574
畜産研究部門	TEL : 029-838-8684
動物衛生研究部門	TEL : 029-838-7705
農村工学研究部門	TEL : 029-838-8296
食品研究部門	TEL : 029-838-7990
生物機能利用研究部門	TEL : 029-838-7424
次世代作物開発研究センター	TEL : 029-838-8260
農業環境変動研究センター	TEL : 029-838-8181
高度解析センター	TEL : 029-838-8948
遺伝資源センター	TEL : 029-838-7465
種苗管理センター	TEL : 029-838-6581

●研究部門・研究センターの主要拠点・支所

※電話番号は、各研究部門・研究センターの産学官連携窓口です。



農研機構
 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
 食農ビジネス推進センター
 〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1
 TEL : 029-838-7698 FAX : 029-838-8982

<http://www.naro.affrc.go.jp/>

2016年4月 企画・編集／食農ビジネス推進センター 初版発行
 2016年12月 第2版発行